

PF-RN2 AHD シリーズ

Ver1.0

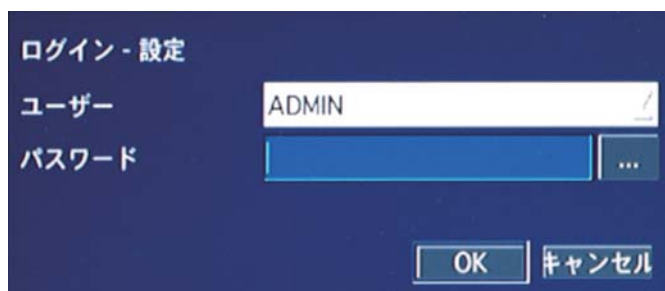
ネットワーク機能搭載
アナログ・AHD専用 デジタルレコーダー
取扱説明書



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

初期パスワード



ログイン - 設定

ユーザー ADMIN

パスワード

OK キャンセル

パスワード 1111

△ 不正使用を防ぐため、変更することをお勧めします。パスワードの変更はP.35を参照ください。

電源の入れ方

電源を入れると起動します。

電源の切り方

- 1.画面下のメニュー内、 (電源OFF) もしくは画面上でマウス右クリックします。右クリックした際はポップアップメニューが表示されるので **システム終了** を選択します。
- 2.確認画面[システムを終了しますか?]と表示されるので、[はい]をクリックします。
- 3.パスワード入力画面が表示されますのでパスワードを入力し、[OK]をクリックすると電源が切れます。

目次

□ 安全上のご注意	4	4.10 ログ	54
□ 主な特徴・主要部品の交換時期・付属品	9	4.11 再生時の操作	54
□ 仕様	10	5. PTZカメラの操作	55
1. 各部の機能と接続	12	5.1 PTZカメラの基本操作	55
1.1 全面パネル	12	5.1.1 PTZカメラの接続と設定	55
1.2 後面パネル	13	5.1.2 PTZ操作画面に入るには	55
1.3 リモコン・マウスの操作	14	5.2 PTZ操作画面	56
1.4 防犯カメラとの接続	15	6. バックアップ	57
1.5 ネットワーク接続	15	6.1 静止画バックアップ	57
1.6 センサーおよびアラームの接続	16	6.2 動画バックアップ	58
2. 設定のしかた	17	6.3 キャプチャーリストのバックアップ	60
2.1 設定メニューの基本操作	17	6.4 バックアップ動画再生	61
2.1.1 使用者モードに入る前に	17	6.4.1 AVI方式	61
2.1.2 設定画面に入るには	17	6.4.2 NSF方式	61
2.1.3 設定メニューを操作するには	18	6.4.3 EXE方式	61
2.1.4 設定を保存するには	18	6.4.3 バックアップ再生	62
2.1.5 設定メニューの構成	19	7. 遠隔ファームウェアのアップグレード	63
2.2 画面表示	20	8. 遠隔で操作するには	65
2.3 録画設定	21	8.1 UMSクライアントの動作環境	65
2.3.1 録画モードの種類	22	8.2 UMSクライアントソフトのインストール	66
2.3.2 スケジュール設定	23	8.3 UMSクライアント" UMS Single Client" の設定と仕様	66
2.4 デバイス設定	24	8.3.1 ライブモードの構成と各部のはたらき	66
2.4.1 アラーム出力設定	25	8.3.1.1 接続のしかた：ローカル接続	68
2.4.2 コントローラー&PTZ設定	26	8.3.1.2 接続のしかた：インターネット経由	69
2.4.3 スポットモニター設定	26	8.3.1.3 接続の切断	69
2.4.4 モーション検出領域設定	27	8.3.1.4 UMSクライアントのデジタルズーム機能	69
2.4.5 リモコンIDの操作	27	8.3.1.5 双方向オーディオ	69
2.5 録画装置	28	8.3.2 検索モードの構成と各部のはたらき	70
2.6 システム設定	30	8.3.2.1 動画のバックアップ	71
2.6.1 NTP設定	33	8.3.3 設定のしかた	72
2.6.2 メール送信設定	34	8.3.4 ポップアップメニュー	75
2.7 セキュリティ設定	35	8.3.5 遠隔設定	76
2.7.1 使用者権限設定	36	8.4 UMSクライアント" UMS Multi Client" の設定と使用	76
2.7.2 使用者パスワード設定	36	8.4.1 接続のしかた	76
2.7.3 データ検索権限設定	37	8.4.1.1 接続先の登録	76
2.7.4 遠隔監視権限設定	37	8.4.1.2 接続先の接続	77
2.8 ネットワーク設定	38	8.4.1.3 接続の切断	77
2.8.1 ポート番号	39	8.4.1.4 接続先の設定変更	77
2.8.2 ネットワークタイプ	39	8.4.2 ライブモードの構成と各部のはたらき	77
2.8.2.1 DHCP	39	8.4.3 検索モードの構成と各部のはたらき	79
2.8.2.2 固定	39	8.4.3.1 再生のしかた	81
2.8.3 DDNSサーバーの設定	40	8.4.3.2 動画のバックアップ	82
2.8.3.1 bestddns.comを利用する場合	40	8.4.4 セットアップのしかた	84
2.8.3.2 その他のDDNSサーバーを利用する場合	40	8.4.5 ポップアップメニュー	88
2.8.3.3 ホストネームを直接入力したり自動登録する場合	40	8.5 遠隔設定	90
2.8.4 ネットワークストリーミングの設定	41	8.5.1 Display設定	91
2.9 設定管理	42	8.5.2 RECORD設定	92
2.9.1 ソフトウェアアップグレード	44	8.5.3 Device設定	93
3. ライブ監視	45	8.5.4 Storage設定	93
3.1 ライブ画面	45	8.5.5 System設定	94
3.2 ポップアップメニュー	47	8.5.6 SECURITY設定	96
4. 検索と再生	49	8.5.7 NETWORK設定	97
4.1 検索メニューの基本操作	49	8.6 Webクライアントの使用	98
4.1.1 検索画面に入るには	49	8.6.1 IEからの接続	98
4.2 検索画面	49	8.6.2 ライブモードの構成と各部のはたらき	98
4.3 クイックサーチ	50	8.6.3 検索モードの構成と各部のはたらき	100
4.4 タイムライン検索	51	8.7 モバイルでのライブ画面監視	102
4.5 イベント検索	51	8.7.1 iPhone/iPadからの接続	102
4.6 先頭映像検索	53	8.7.2 Androidからの接続	103
4.7 最終映像検索	53	□ 故障かな？と思ったら	104
4.8 日時指定検索	53	□ アフターサービスについて	105
4.9 キャプチャーリスト	53		

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この安全上のご注意は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■ 記号の表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 記号の例



△ 記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。



分解禁止

⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜く



■ 電源コードを傷つけない

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、電源コードを無理に折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないでください。
- 電源コードが傷んだら、お買い上げ販売店に交換をご依頼ください。



禁止



■ 電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない

- ほこりにより、ショートや発熱が起こって火災の原因となります。
- 湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所、ほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。
- 定期的に電源プラグを抜いて、プラグとプラグの間に付着したほこり・よごれを取り除いてください。



禁止

■ 電源コード接続時の注意

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続してください。不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災の原因となります。
- 電源コードを束ねて使用しないで下さい。発熱などにより、火災の原因となります。
- コンセントつき延長コードをご使用の場合は、接続する機器の消費電力の合計が、延長コードの定格電力をこえないよう注意してください。火災の原因となります。



禁止

■ 電源コード接続時の注意

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。



分解禁止

警告

■ 内部に異物を入れない

●通風孔などから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。

●万一異物が内部に入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



禁止



電源プラグを
コンセントから抜け

■ 接続する機器の上に、水などの入った容器を置かない

万一内部に水などが入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



電源プラグを
コンセントから抜け

■ めらさない

●本機は防水構造になっていませんので、めらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
風呂場、シャワー室では使用しないでください。

●万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での
使用禁止

■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。



接触禁止

■ 不安定な場所に設置しない

●落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

●万一落ちたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



禁止



電源プラグを
コンセントから抜け

■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。



禁止

警告

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。



禁止

■ 電源電圧 100V 以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。



禁止

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



禁止

注意

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらない

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷ついて、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

■ めれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

■ 上に乗らない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

■ コード類は正しく配線する

電源コードや接続ケーブルはじゅうぶん注意して接続、配線してください。足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などに



■ 接続する機器の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、重みによって故障の原因となることがあります。



禁止

■ 搬送・持ち運びについて

●通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。

●搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。



電源プラグを
コンセントから抜け

注意

- お手入れの際、長期間使用しない場合
電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。



■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。



■ 通風孔や放熱ファンをふさがない

- 本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。
- 本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。
- 上下間は 1cm 以上の隙間を開ける
- 左右は 5cm 以上を開ける
- ラック後面と壁面間は 10cm 以上開ける



禁止

■ 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

- 急激な温度（毎時 10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。



禁止

■ 設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光が当たる場所
- 水にぬれやすい場所
- 冷暖房器具や加湿器に近い場所
- エアコンなどの冷風が直接当たる場所
- ほこりやちりの多い場所
- 火気のある場所
- 磁気を持っているものに近い場所
- 揮発性物質のある場所
- 常に振動のある場所や車や列車など



禁止

付属の AC アダプターについて

危険

■ 分解したり、改造しない

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
- 直流電源器として使用しないでください。



分解禁止

■ 電源電圧 100V 以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。



禁止

■ ぬらさない

- 水につけたり、ぬらしたりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、コンセントから抜いて、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



水ぬれ禁止



水場での使用禁止

警告

■ 付属の AC アダプター以外は使用しない

付属の AC アダプターをご使用ください。他の AC アダプターを使用するとコードの電流容量などの違いにより火災、感電の原因となります。



禁止

■ 他の機器に接続しない

感電の原因となることがあります。



禁止

■ 本機を幼児やお子様の手の届く範囲、またはペットの行動範囲内に接続しない

誤って AC アダプターのコードを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。



禁止

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。



禁止

■ ぬれた手で AC アダプターをさわらない

感電の原因となります。



ぬれ手禁止

付属の AC アダプターについて

警告

■ 煙が出ている、変な音やにおいがするとき、すぐに AC アダプターをコンセントから抜く

- 異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
- 異常状態になった場合は、すぐに AC アダプターをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから、絶対におやめください。



■ 雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら、AC アダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

■ AC アダプターとコンセントの注意

- コンセントにゆるみやガタ付がある場合は接続しない
- AC アダプターはコンセントへ根元まで確実に接続する
- AC アダプターの差込み部が傷んでいる場合は使用しない
不完全な接続のまま使用すると、発熱などにより、火災や感電の原因になります。
- AC アダプターをコンセントから抜くときは、無理に引っ張らない
差込み部やコードが傷み、火災や感電の原因になります。
- AC アダプターをコンセントに差し込んだまま、本機の DC 入力端子から DC プラグを抜いた状態にしない
ぬれた手で触ったり、口に入れたりすると感電の原因になります。
- AC アダプターとコンセントの接触部に、ほこりなどを付着させない
ほこりなどにより、ショートや発熱が起これば火災の原因になります。
特に、湿度の高い部屋や結露しやすいところ、台所やほこりの溜まりやすい場所でのコンセントは注意してください。
ほこりの清掃
AC アダプターをコンセントから抜いて、金属部に付着したほこり、汚れを乾いた布で取り除いてください。
- コンセント付き延長コードを使用する場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えないこと
定格電力を超えると火災の原因になります。



禁止



ぬれ手禁止



注意

■ コード類は正しく接続する

AC アダプターのコードや接続ケーブルは十分注意して配線してください。
足などにコード類を引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



■ コードを傷つけない

AC アダプターのコードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したり、ステーブルなどで固定しないでください。



禁止

■ 不安定な場所に置かない

- 落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。



禁止

■ 使用場所の注意

発熱体（ストーブの前面）や直射日光が当たるところで、使用しないでください。



禁止

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ 本機のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってからふき取ってください。そして、仕上げは乾いた布でふいてください。

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。録画内容などについての保証はできません。

万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップをお勧めします。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いにはシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

警告

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。放熱穴をふさいだり、放熱ファンを止めないようにしてください。機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

■ 通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない

ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

■ 録画や再生中は絶対にコンセントは抜かない

■ 電源を切ってから約 30 秒間は動かさない

電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

■ 衝撃や振動を与えない

本機を床などには置かないでください。やむを得ず置く場合は、本機底面に備え付けの 4 箇所のスタンド（足）が付いていることを確認して丁寧に置いてください。

■ 搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること

本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 梱包していないハードディスクは、基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ハードディスクの交換時には、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないようにしてくだ

主な特徴

- 新規格 AHD 対応で高画質、長距離配線を実現
- アナログカメラも出力可能なハイブリットシステム
- 既設のアナログカメラを使用した接続が可能
- スマートフォンでの遠隔監視が可能
- 音声記録対応
- USB メモリへのデータバックアップ
- リモコンと DVR ユーティリティソフトウェア付属

主要部品の交換時期

本機を周囲温度 25℃の環境下で連続してご使用した場合は、使用環境により部品が摩耗したり劣化します。本機の性能を維持させるために、下記部品の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

■ ハードディスク

使用環境により寿命は異なりますが、ヘッドやモーターが磨耗劣化する部品です。通電時間が 2 年を超えることより、書き込みエラーなどが発生しやすくなります。

■ 電池（バックアップリチウムバッテリー）

2 年（周囲温度 25℃）

付属品

次の部品が入っているかをご確認ください。

- ①DVR 本体
- ②CD-ROM
- ③リモコン（単 3 電池 × 2 個付属）
- ④マウス
- ⑤AC アダプター
- ⑥電源ケーブル
- ⑦製品保証書
- ⑧取扱説明書（本書）
- ⑨音声ケーブル（PF-RN216AHD 専用）
※PF-RN216AHD 購入時のみ付属となります



仕様

型番		PF-RN204AHD	PF-RN208AHD	PF-RN216AHD
映像	入力数	4ch(BNC)	8ch(BNC)	16ch(BNC)
	入力仕様	AHD(720p25/30/60) , (1080P25/30) or NTSC/PAL		
	出力	HDMI×1/VGA×1/SPOT×1/コンポジット×1		
音声	入力	4ch(RCA)		
	出力	1ch(RCA)		
	圧縮方式	G.711		
アラーム	入力	4		
	出力	1		
シリアルインターフェース		RS-485×1		
録画	圧縮方式	H.264		
	録画品質	最高画質/高画質/中画質/標準画質/ネットワーク画質		
	録画モード	常時録画/モーション録画/センサー録画/スケジュール		
	イベント前録画	OFF、15秒、30秒、1分、3分、20分		
	イベント後録画	10～30秒(1秒間隔)、60秒		
解像度及び フレーム レート AHD1080P	1920×1080	15fps/ch		
	1920×540	15fps/ch		
	1280×720	15fps/ch		
	640×360	15fps/ch		
AHD720P (PAL/NTSC) ※使用時は NTSC	1280×720	25/30fps/ch		
	640×360	25/30fps/ch		
アナログ (PAL/NTSC) ※使用時は NTSC	960H	25/30fps/ch		
	D1	25/30fps/ch		
	CIF	25/30fps/ch		
再生	記録映像検索モード	クイックサーチ/タイムライン検索/イベント検索/先頭映像検索/最終映像検索/ 日時指定検索/キャプチャーリスト/ログ		
	画面分割	1、4画面	1、4、8、9画面	1、4、8、9、16画面
	速度	コマ戻し、×1/4、×1/2、×1、×2、×4、×8、×16、×32コマ送り		
バックアップ	メディア	USBメモリー、外付けHDD、ネットワーク経由		
	ファイル形式	BMP、AVI、独自動画フォーマット		
	長時間バックアップ	最大24時間		

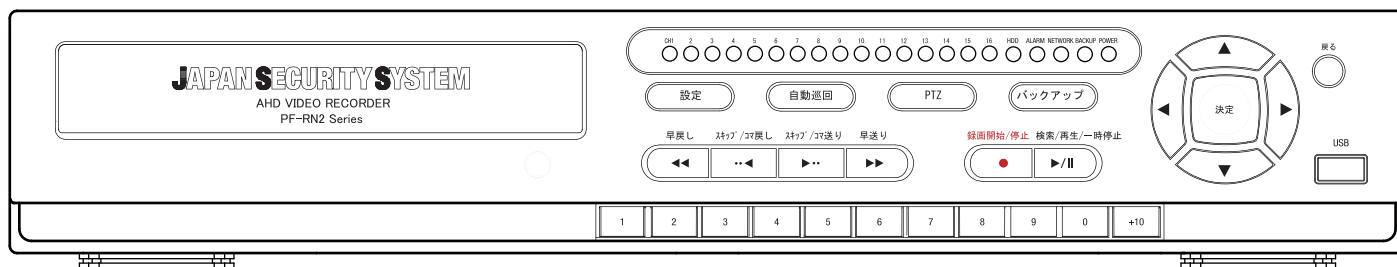
仕様

型番		PF-RN204AHD	PF-RN208AHD	PF-RN216AHD
保存装置	HDD	標準容量 2TB×1台 最大4TB (2TB×2) まで増設可能		
	USB	正面×1、背面×1		
操作方法		正面パネル、リモコン、マウス		
ネットワーク	イーサネット	10/100Base-T		10/100/1000Base-TX
	ダイナミックDNS	有り		
	デュアルストリーミング	有り		
	デジタルズーム	有り		
	サマータイム	有り		
	NTP	有り		
その他機能	S.M.A.R.T	有り		
	内蔵ブザー	1		
	言語	日本語、他20か国語対応		
	e-mail発報	有り		
ネットワーク アクセス	モバイル	iPad / iPhone / Android		
	Webビューアー	Windwos7～8		
	PCクライアント	UMS Single Client / UMS Multi Client		
	セットアップ/アップグレード	遠隔操作可		
電源		DC12V 5A(付属ACアダプター)		
環境温度		動作温度範囲：+5～40℃、保管温度範囲：-10～+50℃		
外形寸法/重量		約380(W)×72(H)×340(D)mm (BNC含まず) / 2700 g (HDD未装着時)		

※ 仕様および外観は、性能改善などにより予告なく変更することがあります。

1 各部の機能と接続

1.1 前面パネル



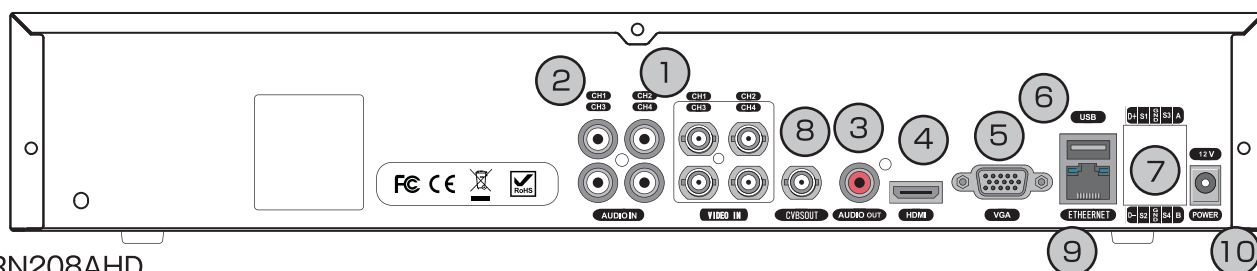
ランプやボタンの説明

名前	説明
CH1 2 3 4 ○ ○ ○ ○	各チャンネルの映像信号がとどいていると点灯します。
USB □	データや設定内容の保存をする場合に、USBメモリーを接続します。 F/W アップグレードおよびデータバックアップ時に使用します。
設定	設定メニューに進みます。
自動巡回	各映像を自動切替します。
PTZ	PTZ の操作に進みます。
バックアップ	バックアップ操作に進みます。
HDD ○	ハードディスクへアクセス中に点滅します。
ALARM ○	アラーム設定中に点滅します。
NETWORK ○	ネットワーク接続中に点滅します。
BACKUP ○	バックアップ中に点滅します。
POWER ○	通電中に点滅します。
早戻し ◀◀	再生時、映像を早戻しします。 押すごとに再生速度が 1→2→4→8→16→1→2→4…倍速に変化します
スリップ/コマ戻し ◀◀	再生時、1 分前の映像にジャンプします。 映像が一時停止状態で押した場合は 1 フレームずつ前に移動します。
スリップ/コマ送り ▶▶	再生時、1 分先の映像にジャンプします。 映像が一時停止状態で押した場合は 1 フレームずつ先に移動します。
早送り ▶▶	再生時、映像を早送りします。 押すごとに再生速度が 2→4→8→16→2→4…倍速に変化します
録画開始/停止 ●	設定された録画モードを無視して、手動録画を開始 / 中止します。
検索/再生/一時停止 ▶/	検索モードに入ります。 再生時、映像を一時停止 / 再生します。
▲	カーソルを上に移動させます。
▶	カーソルを右に移動させます。
▼	カーソルを下に移動させます。
◀	カーソルを左に移動させます。

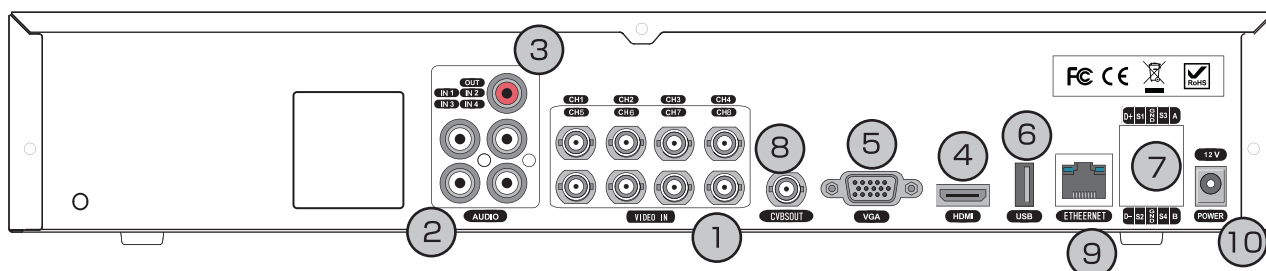
	選択した項目を確定します。
	全画面に戻ります。
	ライブ画面では画面表示を切り替えます (各チャンネル数) メニュー設定時は選択項目を確定します。

1.2 後面パネル

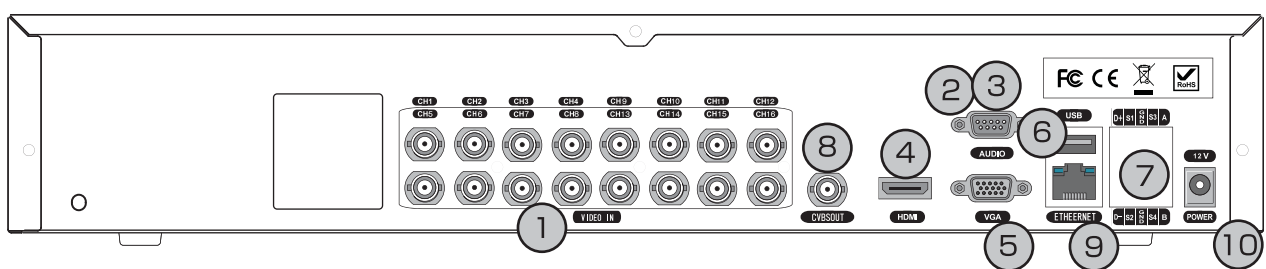
PF-RN204AHD



PF-RN208AHD



PF-RN216AHD



- ① VIDEO INPUT : 映像入力端子
- ② AUDIO INPUT : 音声入力端子
- ③ AUDIO OUT : 音声出力端子
- ④ HDMI : 映像出力端子 (HDMI)
- ⑤ VGA : 映像出力端子 (VGA)
- ⑥ USB : USB端子

- ⑦ 外部機器接続端子:
D1+, D1- …RS-485端子、PTZカメラ、コントローラーの制御線を接続します。
A、B…アラームを出力する機器 (パライトや警報機等) を接続します。
S1 ~ S4…センサー機器のプラスを接続します。
GND…センサー機器のマイナスを接続します。
- ⑧ CVBS OUT : コンポジット出力端子
- ⑨ ETHERNET : ネットワーク端子
- ⑩ 電源アダプタ入力端子

1.3 リモコン・マウスの操作



REC	手動録画
ID	DVRのIDを入力 (IDボタン+DVR ID数字)
0~9	チャンネル選択 ※11ch以上は101と押す
SETUP	設定画面表示
ESC	前画面に戻る
▲▼◀▶	方向ボタン
SEL	画面表示の切替
BACKUP	静止画または保存映像のバックアップ
SEQ	画面自動切換え
--◀	1分前の映像にジャンプ
SEARCH	検索画面表示
▶--	1分先の映像にジャンプ
PTZ	PTZメニューを表示
◀◀	早戻し
▶/	再生/静止
▶▶	早送り

マウスの操作



左クリック

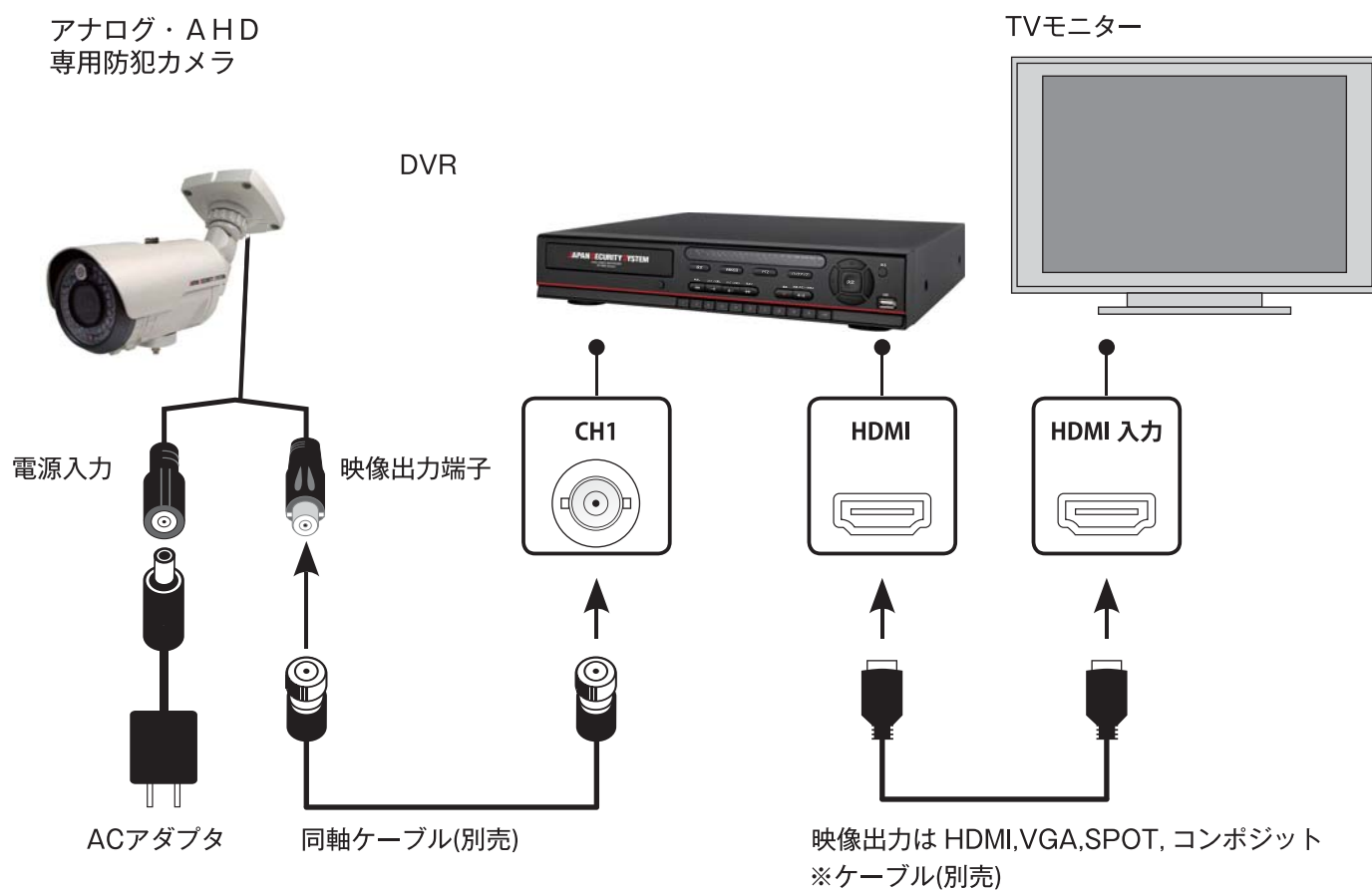
メニューアイコン表示中や設定項目を選択します。決定ボタンと同じ役割をします。
監視時に、ダブルクリックすると、全画面・分割画面の切替ができます。

右クリック

通常画面でクリックすると簡易(ポップアップ)メニューを表示します。
再生モード時は再生用メニューを表示します。

1.4 防犯カメラとの接続

アナログ・AHD
専用防犯カメラ



カメラの接続、入れ替えなど行った場合は必ずレコーダーの電源を入れ直してください。

1.5 ネットワーク接続

接続構成図その1

DVRとパソコンをLANケーブルで直接接続します。

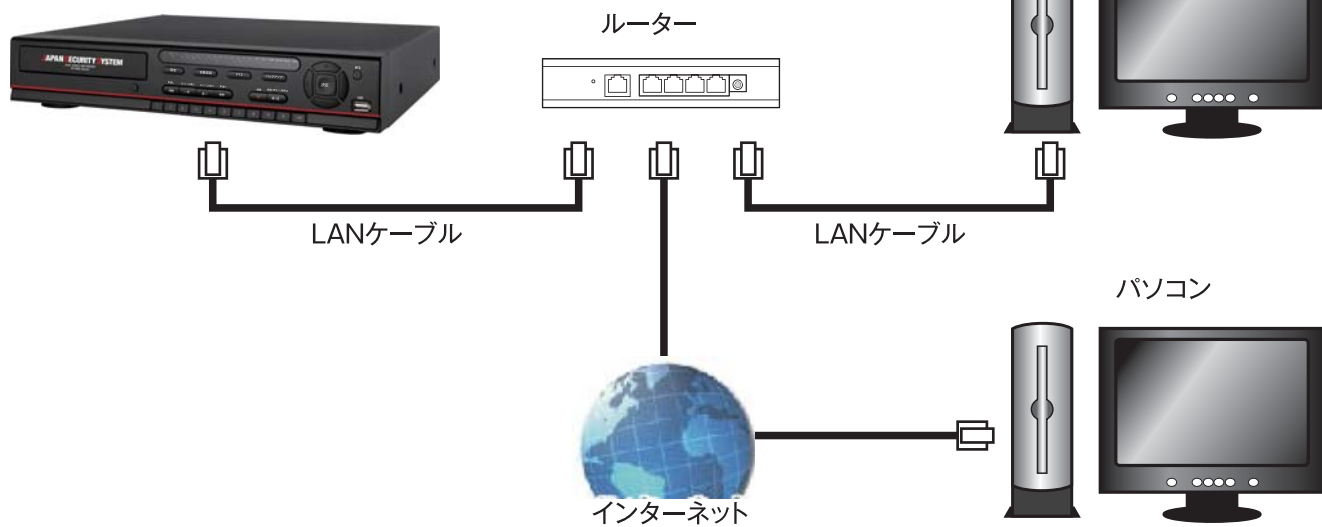


直接接続すると接続したPCのみでDVRの映像の確認・再生・設定操作などが行えます。
※インターネットを経由した接続は行えません。

接続構成図その2

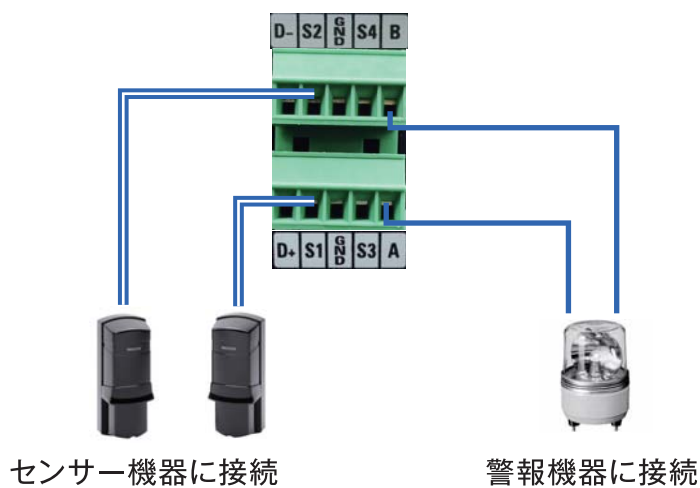
DVRとパソコンをルーターを介してLANケーブルで接続します。

DVR



同一LAN内のパソコンまたは、インターネットを経由した遠隔監視が可能です。

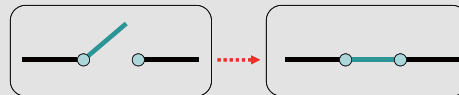
1.6 センサーおよびアラームの接続



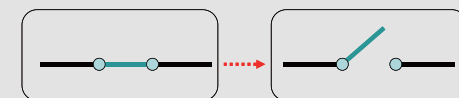
※本図はイメージです。

--- : 反応しません。

N/O: Normally open type sensor.
通常はオープン状態で、クローズしたら反応します。



N/C: Normally closed type sensor.
通常はクローズ状態で、オープンしたら反応します。



アラーム出力時の最大電流と最大電圧: DC24V 1A

2 設定のしかた

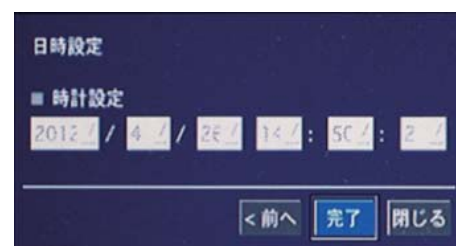
2.1 設定メニューの基本操作

2.1.1 使用者モードに入る前に

- ① 背面の電源アダプター入力端子に AC アダプターを接続します。
- ② 電源が入ると、電源ランプ点灯し初期化を開始します。
初期化が完了しDVRが起動すると、最初に言語選択の画面が表示されます。
「JAPANESE」を選択し、「次へ>」をクリックします。



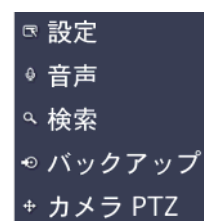
- ③ 現在時刻を確認します。現在時刻を変更したい場合は、「時計設定」のチェックボックスにチェック入れてください。現在時刻が年/月/日/時/分/秒で設定できるようになります。
入力が出来たら「完了」をクリックします。



- ④ 接続されているカメラのライブ映像が分割画面で表示され、使用者が操作できるようになります。

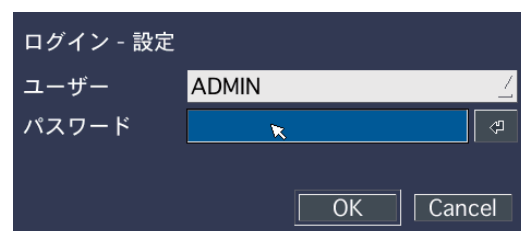
2.1.2 設定画面に入るには

- ① 設定画面に入るには、以下のような方法があります。
 - 前面パネルの「設定」かリモコンの「SETUP」ボタンを押します。
 - メイン画面の下部のタスクバーから  のアイコンをクリックします。
 - メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「設定」をクリックします。



- ② ログイン画面が表示されると、コントロールボタン(◀▶)でユーザータイプを選択します。

「ユーザー」「パスワードの変更」権限の設定は、設定メニューの「セキュリティ」メニューから変更できます。



- ③  をクリックするとキーボードが表示されます。コントロールボタン（▲▼◀▶）かマウスを利用し、選択したユーザータイプに合うパスワードを入力してください。各ユーザーのパスワードは、設定メニューの「セキュリティ」メニューで設定できます。パスワードを入力し「OK」をクリックすると、設定画面が表示されます。



※工場出荷時のパスワードは「1111」です。購入後、パスワードを変更することをお勧めします。

2.1.3 設定メニューを操作するには

- マウスの操作 : マウスを左クリックで選択したい項目やボタンをクリックします。
- 前面パネルのボタン・リモコン操作 :

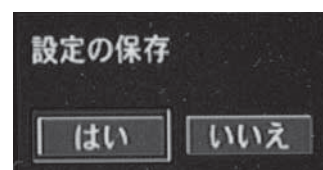
▼ ボタン	1つ次の設定項目に移動します。
▲ ボタン	1つ前の設定項目に移動します。
◀▶ ボタン	設定項目の設定値や選択肢を変更します。
「SEL」ボタン	ボタンを選択します。
「ESC」ボタン	ボタンを選択します。

- 項目の設定 :

	コントロールボタン(◀▶)やマウスクリックで選択するとドロップダウンで選択できます。
	コントロールボタン(◀▶)やマウスのドラック&ドロップで設定値が変更できます。
	クリックすると文字入力表やサブメニューの画面が表示されます。

2.1.4 設定を保存するには

- ① 設定が完了し、設定メニュー画面を閉じるために「OK」ボタンを押すと右のような設定保存画面が表示されます。
- ② 「はい」を選択すると変更した設定内容が保存されます。
- ③ 「いいえ」を選択すると変更した設定内容が無効になります。



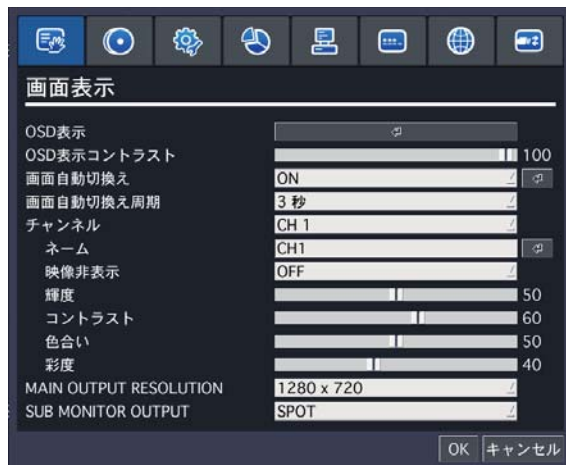
※設定完了後、設定メニュー画面右下の「キャンセル」ボタンを押すと、変更した設定内容が無効になります。

2.1.5 設定メニューの構成

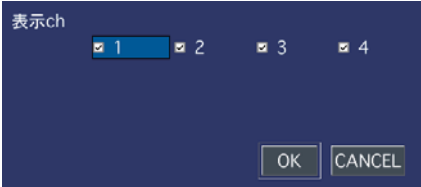
 画面表示	 録画	 デバイス
- OSD表示 - OSD表示コントラスト - 画面自動切換え - 画面自動切換え周期 - チャンネル - 名前 - 映像非表示 - 輝度 - コントラスト - 色合い - 彩度 - MAIN OUTPUT RESOLUTION - SUB MONITOR OUTPUT	- チャンネル - 録画解像度 - 録画フレーム - 画質 - 録画モード - センサー録画 - イベント前記録 - イベント後記録 - 音声 - スケジュール	- アラーム出力 - コントローラー&PTZ - スポットモニター設定 - チャンネル - モーション領域 - モーション感度 - ボタン音 - リモコンID - センサー - タイプ - カメラタイプ
 録画装置	 システム	 セキュリティ
- 上書き - HDDフォーマット - HDD情報 - 記録保存日数制限 - 記録保存日数	- DVR ID - システム情報 - 言語 - 日付の形式 - 日時設定 - クライアントアクセス - NTP - メール送信 - システム再起動	- 使用者権限 - 使用者名変更 - 使用者パスワード - データ検索権限 - 遠隔監視権限 - 遠隔再生時間制限
 ネットワーク	 設定管理	
- ポート番号 - ネットワークオーディオポート - WEBポート - ネットワークタイプ - IPアドレス - サブネットマスク - ゲートウェイ - DNS(第1) - DNS(第2) - DDNS - ネットワークストリーム	- USBへ設定保存 - USBから設定読込 - 使用者設定を戻す - 工場出荷時に戻す - ソフトウェアアップグレード	

2.2 設定－画面表示

画面表示の設定をします。設定メニューで【画面表示】 を選択します。メニュー項目はマウス/リモコン/本体パネルにて設定できます。キャンセルする場合はリモコンと前面パネルにある「戻る (ESC)」ボタン又はOSDメニュー下部にある「キャンセル」をクリックして下さい。

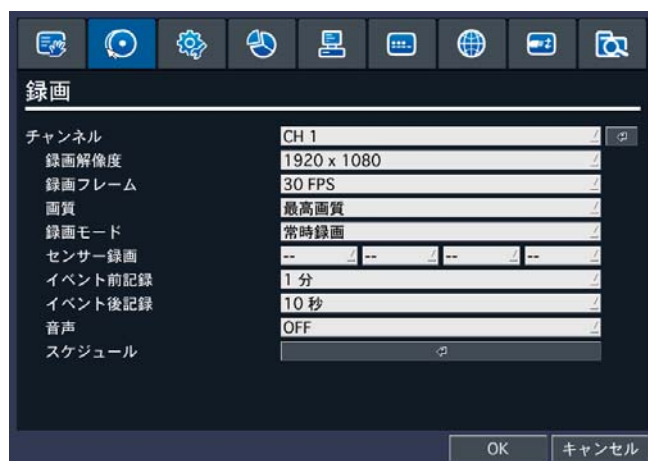


【画面表示メニュー】

名 前	説 明
OSD表示	画面情報を表示するかどうかを設定します。 OFFを選択すると、ch名（チャンネル名）/VIDEO LOSS/タスクバー/カメラタイプ/ 録画表示の画面情報が表示されません。（選択肢：ON/OFF）
OSD表示コントラスト	画面に表示されるOSDの透明度を調整します。（50-100）
画面自動切替え	画面自動切替えをON/OFFにて選択します。 ONにすると  が使用でき、サブメニュー画面を表示します。 表示チャンネルを設定します。 
画面自動切替え周期	画面自動切替えの周期を設定します。（設定範囲：3～60秒） 画面自動切替えを“ON”に設定した時だけ適用します。
チャンネル	設定するチャンネルを選択します。
ネーム	該当チャンネル名を入れます。チャンネル選択右側の  ボタンを押すとチャンネル名を変更できます。変更すると録画が1秒間中止されます。
映像非表示	“チャンネル”メニューで選択したチャンネル映像をメイン画面で非表示にする時に使用します。 “ON” 選択時メイン画面では非表示になりますが実際に録画はできます。
輝度、コントラスト 色合い、彩度	輝度、コントラスト、色合い、彩度を設定します（設定範囲：0～100）
MAIN OUTPUT RESOLUTION	1920x1080/1280x720 からビデオ出力解像度を選択します。
SUB MONITOR OUTPUT	CVBS/SPOT から選択できます。

2.3 設定－録画

録画の設定をします。設定メニューで【録画】を選択します。メニュー項目はマウス/リモコン/本体パネルにて設定できます。キャンセルする場合はリモコンと前面パネルにある「戻る（ESC）」ボタン又はOSDメニュー下部にある「キャンセル」をクリックして下さい。



【録画メニュー】

名 前

説 明

詳細内容は（録画解像度、録画フレーム、画質、録画モード、イベント前記録、イベント後記録、音声）をチャンネル毎に設定します。  を押すと、「全CH設定－録画」画面が表示されすべてのチャンネルと設定項目を一目で見ることができます。

チャンネル

	録画解像度	録画フレーム	画質	録画モード	イベント前記録	イベント後記録	音声
ALL	1920 x 1080	30	最高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
1	1920 x 1080	30	最高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
2	1920 x 1080	30	最高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
3	1920 x 1080	30	最高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF
4	1920 x 1080	30	最高画質	常時録画	1 分	10 秒	OFF

OK キャンセル

コントロールボタン(▲▼◀▶) で変更したい項目に移動し、本体の「決定」またはリモコンの「SEL（決定）」を押すか、マウスでダブルクリックすると、項目の設定ができます。

コントロールボタン(◀▶) で設定値を変更し、本体パネルの「決定」ボタンまたは、リモコンの「SEL」を押すと設定値が保存されます。

「ALL」の設定値を変更すると、全チャンネルの設定値が一度に変更できます。

録画の解像度を設定します。

録画解像度

アナログ : CIF / D1 / 960H

AHD720P : 1280×720 / 640×360

AHD1080P : 1920×1080 / 1920×540 / 1280×720 / 640×360

録画フレーム数を設定します。

録画フレーム

アナログ, AHD720P : 1～ 30FPS

AHD1080P : 1～15FPS)

画質	録画画質を選択します。 (選択肢：ネットワーク画質/標準画質/中画質/高画質/最高画質)
録画モード	録画モードを選択します。 (選択肢：常時録画/モーション録画/センサー録画/スケジュール録画/OFF) ※各モードの詳しい説明は「2.3.1 録画モードの種類」をご参照ください。
センサー録画	各チャンネルに4つのセンサーを設定できます。
イベント前記録	モーション録画でモーション発生時、又はセンサー録画でセンサー検知の発生時、何秒・何分前から録画を開始するかを選択します。 (選択肢：OFF/15秒/30秒/1分/3分/20分)
イベント後記録	モーション録画でモーション発生後、又はセンサー録画でセンサー検知後からの録画時間を指定します。(設定範囲：10～60秒)
音声	指定されたチャンネルについて、音声録画の有無を設定します。(選択肢：ON/OFF)
スケジュール	1週間単位のスケジュール録画の設定をします。  ボタンを押すと、スケジュール画面が表示され、1週間単位の録画スケジュールが設定できます。 ※詳細は「2.3.2 スケジュール設定」をご参照下さい。

2.3.1 録画モードの種類

録画する条件を6つの録画モードから選択できます。

常時録画	DVRの電源がONになっている間は常時録画を行います。
モーション録画	DVR内蔵のモーションセンサーが反応すると録画を行います。
センサー録画	DVRの外部センサー入力端子（S1～S4）に接続されたセンサー機器が反応すると録画を行います。
スケジュール録画	録画設定メニューの「スケジュール」項目で設定されたスケジュール通りに録画を行います。
OFF	録画を行いません。
手動録画	DVRのフロントパネルまたはリモコンの「REC」ボタンを押すと、各チャンネルの録画モードを無視し、リアルタイムで録画を開始します。手動録画モードを解除する時は、DVRのフロントパネルまたはリモコンの「REC」ボタンをもう一度押してください。

2.3.2 スケジュール設定

- ① 録画設定メニューで「スケジュール」項目に移動し、全面パネルの「決定」ボタンを押すとスケジュール設定画面が表示されます。



- ② 「チャンネル」項目に、スケジュールを設定したいチャンネルを指定します。
- ③ 画面上のボタンから録画モードを選択します。

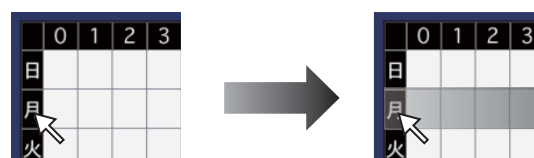


- ④ スケジュール表のマスをクリック、あるいはドラックすると、選択中の録画モードが設定されます。各録画モードごとに、マス目に表示される色が違います。

色	録画モード
緑	常時録画
赤	センサー録画
黄	モーション録画
白(色なし)	録画しない

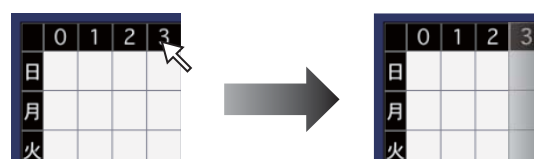
- 1日中同じ設定にしたい場合は、縦軸の曜日ボタンをクリックします。

例)
「月」をクリックすると、月曜日の24時間が
選択した録画モードに設定されます。



- 毎日設定した時間だけを同じ設定にしたい場合は、横軸の数字をクリックします。

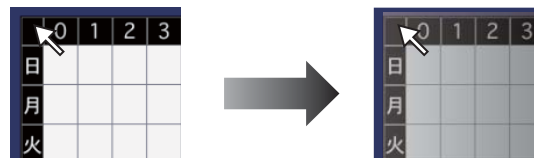
例)
「4」をクリックすると、毎日04:00~05:00
の間の時間が選択した録画モードに設定されます。



- 毎日同じ設定にしたい場合は、縦軸と横軸が接する部分のマスをクリックします。

例)

数字と曜日の間の黒い■部分をクリックすると、毎日の全時間帯が選択した録画モードに設置絵されます。



- **クリア** ボタンをクリックすると、スケジュール表の録画モード設定が全部消え、初期化されます。

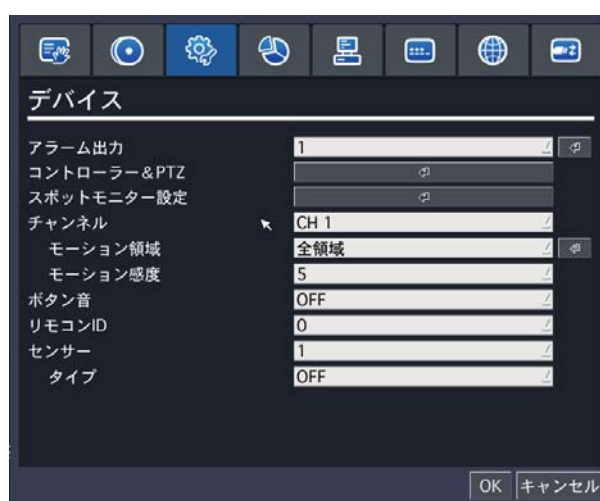
- ⑤ 「OK」をクリックすると、録画モードが「スケジュール」になっているチャンネルの録画モードが設定したスケジュール通りに変更されます。

※ 設定したスケジュールを他のチャンネルにコピーしたい場合

「スケジュールを他のCHにコピー」の項目で、スケジュールを上書きしたいチャンネルのチェックボックスにチェックを入れ、**コピー** ボタンをクリックすると、スケジュール表の設定が選択チャンネルに適用されます。

2.4 設定 – デバイス

センサーやPTZカメラなどの外部装置に関する設定を行います。設定メニューで【デバイス】 を選択します。メニュー項目はマウス/リモコン/本体パネルにて設定できます。キャンセルする場合はリモコンと前面パネルにある「戻る (ESC)」ボタン又はOSDメニュー下部にある「キャンセル」をクリックして下さい。



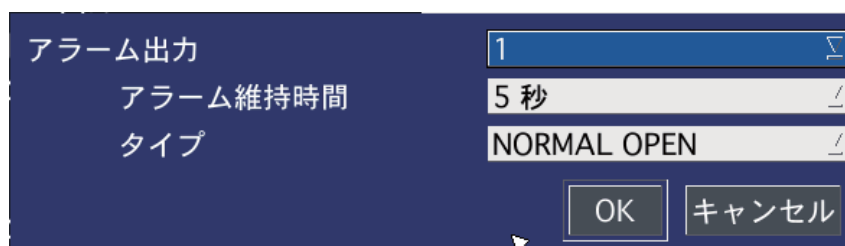
【 デバイスメニュー 】

名 前	説 明
アラーム出力	 ボタンを押すと表示されるアラーム出力画面で外部センサー、モーション検知、VIDEO LOSSなどによるアラーム出力を設定します。 ※詳細は「2.4.1 アラーム出力設定」をご参照ください。
コントローラー&PTZ	 ボタンを押すと表示されるPTZ画面でPTZカメラのスピード、カメラ名、IDなどを設定します。 ※詳細は「2.4.2 PTZ設定」をご参照ください。

スポットモニター設定	 ボタンを押すとモニタリングの為のSPOT出力を設定します。 ※詳細は「2.4.3 スポットモニター設定」をご参照ください。
チャンネル	モーションを設定するチャンネルを指定します。
モーション領域	モーション検出の領域を設定します。（選択肢：全領域/検出枠） 検出枠を選び、  ボタンを押すと表示される検出枠設定画面でモーションを検出する領域を設定します。 ※詳細は「2.4.4 モーション領域設定」をご参照ください。
モーション感度	モーション検知の感度を選択します（選択肢：1～9） 数字が高くなるほど敏感になります。
ボタン音	本機のパネルのボタンまたはリモコンのボタンを押す時、音を出力するかどうかを選択します。 （選択肢：ON/OFF）
リモコンID	リモコンのIDを設定します。（選択肢：0～99） ※詳細は「2.4.5 リモコンIDの操作」をご参照ください。
センサー	センサータイプを設定するセンサー番号を指定します。（選択肢：1～4）
タイプ	指定した番号のセンサータイプを選択します。 ● NORMAL OPEN：通常はオープン状態で反応する。 ● NORMAL CLOSE：通常はクローズ状態で反応する。 ● OFF：反応しない

2.4.1 アラーム出力設定

アラーム出力の条件を設定します。



【アラーム出力設定メニュー】

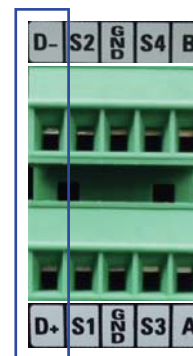
名 前	説 明
アラーム出力	アラーム出力端子設定。本機の場合は「1」に固定されています。
アラーム維持時間	アラーム出力維持時間設定（選択肢：5～60秒/無限）
タイプ	指定した番号のセンサータイプを選択します。 ● NORMAL OPEN：通常はオープン状態で反応する ● NORMAL CLOSE：通常はクローズ状態で反応する

2.4.2 コントローラー&PTZ設定

PTZ機能の操作のため、まずPTZカメラの接続と設定が必要です。PTZカメラのRS-485ケーブルを本体背面の外部機器接続端子、D+/D-（RS-485ポート）に接続します。

メモ：RS-485対応のスピードドームカメラをRS-485端子に接続してください。もしカメラがRS-232からコントロールされている場合は、RS-485→RS-232Cシグナルコンバーターをご使用ください。

メモ：RS485は物理的な配線の終端に終端抵抗（ターミネータ）が必要です。工事の際、必ず取付けてください。終端抵抗がない場合、PTZ機能が正しく動作されません。



コントローラー	----	/
スピード	9600	適用
ID	0	/
チャンネル	1	/
カメラ	----	/
スピード	9600	/
ID	0	/
OK キャンセル		

【 PTZ設定メニュー 】

名 前	説 明
コントローラー	接続しているコントローラーのプロトコルを選択します。
スピード	通信速度を設定します。（選択肢：2400/4800/9600/14400/19200）
ID	接続しているコントローラーのIDを設定します。（選択肢：0～63）
チャンネル	詳細内容（カメラ、スピード、ID）を設定するチャンネルを指定します。
カメラ	接続しているカメラのプロトコルタイプを選択します。
スピード	通信速度を設定します。（選択肢：2400/4800/9600/14400/19200）
ID	接続しているカメラのIDを設定します。（選択肢：0～63）

※詳しい操作方法はご利用のPTZカメラの取扱説明書をご参照ください。

2.4.3 スポットモニター設定

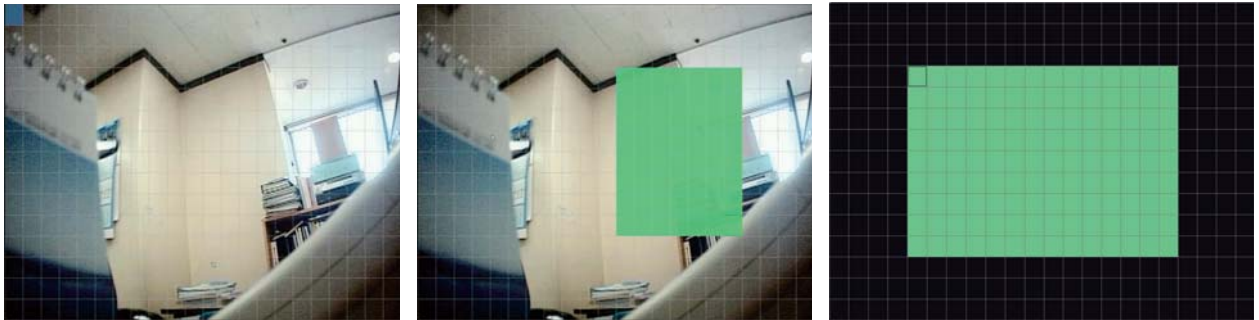
SPOT	
イベント時スポット出力	ON Σ
イベント画面表示時間	3 秒 /
画面自動切換え	ON /
画面自動切換え周期	3 秒 /
スポットCH	☒ ALL ☒ 1 ☒ 2 ☒ 3 ☒ 4
OK キャンセル	

【 スポットモニター設定メニュー 】

名 前	説 明
イベント時スポット出力	イベント発生時にスポット出力を使用するか設定します。（選択肢：ON/OFF）
イベント画面表示時間	イベント発生時の画面表示時間を設定します。（選択肢：3～10秒）
画面自動切換え	画面自動切換えを使用するか設定します。（選択肢：ON/OFF）
画面自動切替周期	画面自動切替周期を設定します。（選択肢：3～10秒）
スポットCH	画面自動切替で表示するチャンネルを設定します。

2.4.3 モーション検出領域設定

- ① デバイス設定画面のモーション領域項目で「検出枠」を選び、 ボタンを押すと、モーション検出枠の設定画面が表示されます。



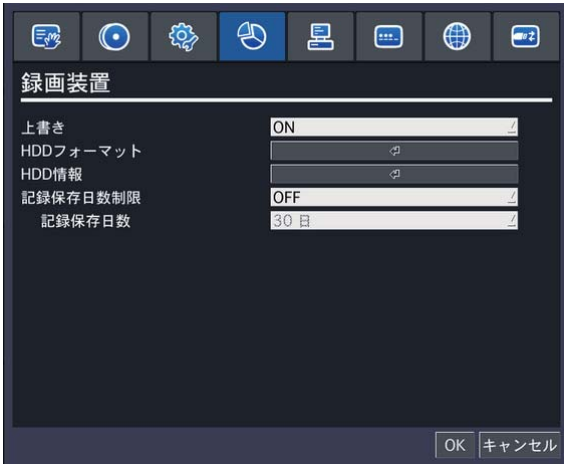
- ② コントロールボタン（▲▼◀▶）でモーションを検知する箇所にカーソルを移動させ、前面パネルかリモコンの「決定（SEL）」ボタンを押すか、マウスの左ボタンをクリックするとモーション検出領域に設定されます。モーション検出領域に指定された枠は緑色に塗りつぶされます。
- ③ 繰り返し操作で、モーションを検知する範囲を選択してください。
- ④ 設定が終了したら、リモコンか全面パネルの「戻る（ESC）」ボタンを押すか、マウスの右ボタンをクリックしてデバイス設定メニューに戻ります。

2.4.4 リモコンIDの操作

- ① デバイス設定メニューの「リモコンID」項目でリモコンIDを設定します。0～99の数字で設定できます。0に設定するとライブ画面の右下に  のR：ALLのアイコンが表示され、どのリモコンでも本機を操作できます。
- ② 「ESC」ボタンを繰り返し押してライブ画面に戻ります。リモコンIDを0以外の数字に設定した場合、ライブ画面の右下の  のアイコンが消え、IDが設定されていないリモコンでは操作できなくなります。
- ③ リモコンの「ID」ボタンを押し、本機に設定したIDと同じ2桁の数字ボタンを押します。リモコンにIDが設定されます。
- ④ 本機とリモコンに設定したIDが一致すると、本機が操作できるようになります。

2.5 設定 — 録画装置

HDDの設定・確認ができます。設定メニューで【録画装置】 を選択します。メニュー項目はマウス/リモコン/本体パネルにて設定できます。キャンセルするには、リモコンと本体前面パネルにある「戻る (ESC)」ボタン又はOSDメニュー下部にある「キャンセル」をクリックして下さい。



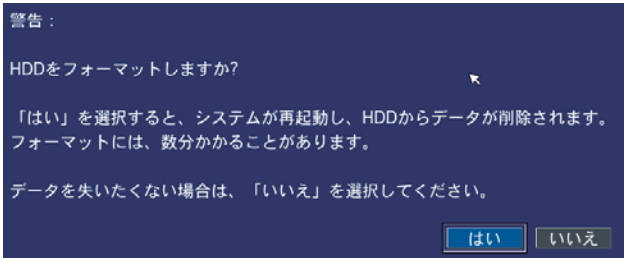
【 録画装置 (HDD) 設定メニュー 】

名 前	説 明
上書き	ハードディスクの容量がいっぱいになったとき、上書き録画をする/しないを設定します。 (選択肢：ON/OFF) ※ 「ON」に設定されている場合、ハードディスクの容量がいっぱいになると、古い映像を削除し、上書きしながら録画を続けます。 ※ 「OFF」に設定されている場合、ハードディスクの容量がいっぱいになると録画を停止します。

内蔵のハードディスクを初期化します。 ボタンを押すと、フォーマット画面が表示されます。「はい」を選択するとフォーマットを行い、DVRが再起動します。

※ すべての記録が失われます。フォーマットをおこなう前に、必要な映像はあらかじめ外部メモリーなどにバックアップしてください。

HDDフォーマット



HDD情報

 ボタンを押すと、搭載されているハードディスクの総容量と残容量、HDDの録画開始時刻と最終録画時刻、温度や通電時間の状態が確認できます。

HDDの容量 : 3481 GB (残り : 3465 GB)
HDD記録開始日時 : 2015/05/15 16:10:00
HDD最終記録日時 : 2015/05/21 14:55:00

	モデル名	温度	通電時間	状態 (GOOD/NORMAL/BAD)
HDD 1	WDC WD20PURX-64P6ZY0	37 °C (98 °F)	17 時間	GOOD
HDD 2	WDC WD20PURX-64P6ZY0	35 °C (95 °F)	17 時間	GOOD
HDD 3				
HDD 4				
HDD 5				
HDD 6				
HDD 7				
HDD 8				

OK詳細

詳細ボタンをクリックすると、代替処理セクター、現在保留中のセクター、代替処理不能セクター、スピンリトライセクターが確認できます。ヘルプボタンをクリックすると、これらの説明が表示されます。

	代替処理セクター	現在保留中のセクター	代替処理不能セクター	Spin Retry Count
HDD 1	0	0	0	0
HDD 2				
HDD 3				
HDD 4				

OKヘルプ

[代替処理セクター]
代替処理領域に伝送された不良セクター。
このセクターの数が増えると、読み取り/書き込みの速度が落ちてきます。

[現在保留中のセクター]
読み取りエラーのため、代替処理を待っている状態のセクター。

[代替処理不能セクター]
読み取り/書き込みの時に、代替処理不能になったセクター。
このセクターの数が増えると、ディスク表面の傷や、サブシステムの機械的な問題が発生したことを意味します。

[スピンリトライ回数]
スピン開始をリトライした回数。
この回数が増えると、ディスクの機械的なサブシステムに問題が発生したことを意味します。

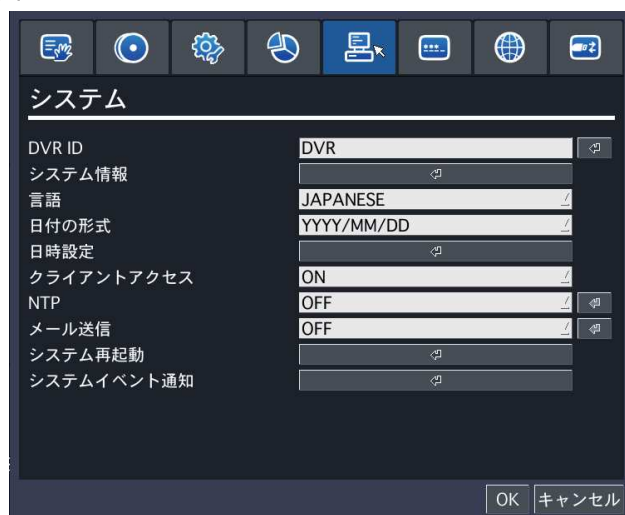
OK

記録保存日数制限	録画記録を保存する期間を制限します。(選択肢：ON/OFF)
記録保存日数	「記録保存日数制限」設定がONの場合、録画記録を保存する日数を設定します。 (設定範囲：1～90日) ハードディスクには設定した日数だけのデータを残し、それ以上のデータは古い順番で削除されます。

2.6 設定 — システム設定

DVRのシステムを管理するための設定や、システム情報の確認ができます。

設定メニューで  【システム】を選択します。メニュー項目はマウス/リモコン/本体パネルにて設定できます。
以前の設定メニュー画面に戻るには、リモコンと前面パネルにある「戻る (ESC)」ボタン又はOSDメニュー下部にある「キャンセル」をクリックして下さい。



【システム設定メニュー】

名 前	説 明
DVR ID	本機を複数接続するときは、各機器に固有のIDを付けることができます。  ボタンを押し、文字表でDVR IDを入力します。IDは最大10ケタまで設定可能です。
システム情報	 ボタンを押すと表示されるシステム情報画面からハードウェア・ソフトウェアのバージョン、HDD容量、IPアドレス、MACアドレス、DDNSステータスなどが確認できます。 
言語	OSDメニューの表示言語を選択します。 マウスまたは全面パネルの方向ボタン(◀ ▶ ▲ ▼)を使って言語を選択した後、確認ボタンを押して表示言語を変更します。(約21カ国語対応)
日付の形式	マウスまたは全面パネルの方向ボタン(◀ ▶ ▶ ▼)を使って日付表示形式を設定します。 オプション: (年/月/日、 月/日/年、 日/月/年、 年-月-日、 月-日-年、日-月-年)
日時設定	 ボタンを押すと日時設定画面が表示されます。 

日時設定

時間表示形式を設定します。

時間帯を設定します。日本国内で使用する場合は、「GMT+9:00 (Seoul/Tokyo)」に設定して下さい。

サマータイムを設定します。(選択肢：OFF/USA/EU/その他)

※サマータイムを使用しない日本地域の場合は「OFF」に設定してください。

「日時設定」項目のチェックボックスにチェックを入れると、システムの現在時刻が変更できるようになります。

年/月/日/時/分/秒を設定し、「OK」ボタンを押します。

変更日時を適用するかを確認する画面が表示されます。「はい」を選択します。

設定の保存画面で「はい」を選択すると、DVRが再起動し、変更した日時が適用されています。

※ 従来の時刻より前の時刻に変更した場合、「時刻不一致」が発生することがあります。

時刻不一致が発生した場合は

日時設定メニューから日時を更新してリブートした時、新しい時刻が最終録画時刻より前の時刻であると、「時刻不一致」が発生します。システムの現在時刻より未来の記録が存在することはシステムの的に成立できませんので、現在時刻と最終録画時刻の間にあるデータは消去することになります。

① 日時を変更してシステムが再起動した時、変更した新しい日時より以前の時刻の録画データが存在すると「時刻不一致」のメッセージが表示されます。

② 新しい日時をそのまま適用してデータを削除するか、テストモードに入って日時をもう一度変更するかを選択します。選択肢から「はい」を選択すると、システムの日時を設定した通りに更新し、その日時より後のデータはハードディスクから消去します。



注意:

- サマータイムについての23:00開始時間を設定しないでください。
- 開始および終了日付が同じ場合、サマータイムは適用できません。

クライアントアクセス

ネットワークを通じて、外部のPCからDVRへ接続することを許可するか、しないかを設定します。(選択肢：ON/OFF)

NTP

インターネットまたはLAN上のNTPサーバーを使って時刻合わせを行うための設定です。

(選択肢：ON/OFF)

ONを選択し、 ボタンを押すと、NTPの設定ができます。

※ 詳細は「2.6.1. NTP設定」をご参照ください。

メール送信

DVRからメールを送信する機能です。(選択肢：ON/OFF)

ONを選択し、 ボタンを押すと、メール送信の設定ができます。

※ 詳細は「2.6.2. メール送信設定」をご参照ください。

システム再起動

DVRを再起動する機能です。

 ボタンを押すと、警告文が表示されます。

再起動する場合は「はい」をキャンセルは「いいえ」にて選択します。

システムイベント通知

DISK EVENT SETUP			
機器状態チェック		HDD 不良セクタ率	10%
HDD 温度	60C (140F)	HDD 使用率	90%

VIDEO CLIP SETUP	
イベント前記録	2 秒
POST RECORD	1 秒

イベント通知	アラーム出力	ブザー	メール
機器状態チェック	-	-	ON
再起動	-	-	ON
システム終了	-	-	ON
手動録画	-	-	ON
センサー入力	OFF	-	OFF
モーション検知	OFF	-	OFF
ビデオロス	OFF	OFF	OFF
HDD 温度	1	ON	OFF
HDD 不良セクタ率	-	-	ON
HDD 使用率	-	-	ON
HDD フル	-	-	ON
HDD エラー	OFF	OFF	ON

OK キャンセル

期間
毎日
第1 日 0 時
OK キャンセル

機器状態チェック：周期的にメール送信を選択(期間: 毎日、毎週、毎月選択)

HDD不良セクタ率: ハードディスク不良セクター

HDD 温度: ハードディスク温度

HDD 使用率: ハードディスク使用量

イベント発生時のお知らせ方法設定

ーイベント前記録/イベント前の録画秒数（選択肢：1～5秒）

ーイベント後録画/イベント後の録画秒数（選択肢：1～5秒）

機器情報チェック /再起動 /システム終了 /手動録画

ー DVRの問題発生イベントにEメールお知らせ設定(システム状態、再開、強制終了、保存問題)

ー センサー入力: センサー感知時、アラーム出力またはEメールお知らせ設定

ー モーション検知: モーション感知時、アラーム出力またはEメールお知らせ設定

ー ビデオロス: 映像信号問題時、アラーム出力、ブザー、Eメールお知らせ設定

ー HDD 温度: HDD 温度異常時、ブザー、Eメールお知らせ設定

ー HDD 不良セクタ率: HDD エラー区間発生時、Eメールお知らせ設定

ー HDD不良率: HDD 容量がほぼ一杯の時、Eメールお知らせ設定

ー HDD フル: HDD 容量が一杯の時、Eメールお知らせ設定

ー HDD エラー: HDD認識エラー時、アラーム出力、ピープ音、Eメールお知らせ設定

2.6.1 NTP設定

ネットワーク上のNTPサーバーに接続し、DVRの時計を標準時刻に同期することができます。

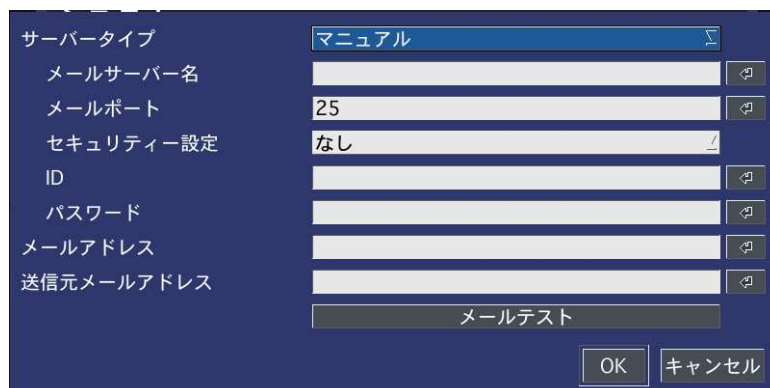


【 NTP設定メニュー 】

名 前	説 明
NTPサーバーアドレス1	同期をあわせるために接続するNTPサーバーを指定します。  ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。 ※ 初期設定状態は以下になります。 「ntp.jst.mfeed.ad.jp」
NTPサーバーアドレス2	NTPサーバーアドレス1が接続できなくなった場合に、接続するNTPサーバーを指定します。  ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
時間帯	使用地域のグリニッジ標準時を選択します。(設定範囲：GMT-12:00～+13:00) 日本国内では、「GMT+9:00 (seoul/tokyo)」を選択してください。
接続モード	NTP同期を行う周期を選択します。 (選択肢： 周期指定/ 時刻指定/ 一回)
接続周期・時刻	NTP同期を行う周期あるいは時刻を設定します。 (接続モードが時刻指定時の選択肢： 01:00AM ～ 12:00AM) (接続モードが周期指定時の選択肢： 1 ～ 24 時間ごとに) (接続モードが一回の選択肢： 選択不可) ※設定時のみNTP 時刻合わせを行います。 例) 接続モードが「周期指定」、接続周期・時刻が「15 時間ごとに」に設定 設定してから3 時間ごとにNTP 時刻合わせを行います。 例) 接続モードが「時刻指定」、接続周期・時刻が「03:00PM」に設定 毎日15 時(午後3 時) にNTP 時刻合わせを行います。

2.6.2 メール送信設定

DVRからメールを送信するための設定を行います。



【メール送信設定メニュー】

名 前	説 明
サーバータイプ	GMAIL、HOTMAIL、AOL、YAHOO or マニュアル
メールサーバー名	メールの送信元のサーバーを指定します。  ボタンをクリックし表示される文字入力表で、サーバーのアドレスを入力します。
メールポート	指定されたメールポート番号入力
セキュリティ設定	セキュリティメールサーバー接続方法設定(SSL or TLS)
ID	メールサーバーに接続するユーザーのIDを設定します。  ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、IDを入力します。
パスワード	メールサーバーに接続するユーザーのパスワードを設定します。  ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、パスワードを入力します。
メールアドレス	メールの送信先を指定します。  ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信先のメールアドレスを入力します。
送信元メールアドレス	メールの送信元を指定します。  ボタンをクリックし、表示される文字入力表で、送信元のメールアドレスを入力します。
メールテスト	Eメール登録されたアカウントにテストメールを送信

2.7 設定 – セキュリティー

設定メニューで【セキュリティ】 を選択します。メニュー項目はマウス/リモコン/本体パネルにて設定できます。以前の設定メニュー画面に戻るには、リモコンと前面パネルにある「戻る (ESC)」ボタン又はOSDメニュー下部にある「キャンセル」をクリックして下さい。使用者のためのパスワードやアクセス権限などが設定できます。



【セキュリティ設定メニュー】

名 前	説 明
使用者権限	 ボタンを押すと、使用者権限設定メニューが表示され、各使用者が操作できるメニューの範囲を設定できます。 ※ このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※ 詳細は「2.7.1. 使用者権限設定」をご参照ください。
使用者名変更	 ボタンを押すと、使用者名変更メニューが表示され、USER1/ USER2/ USER3 をご希望の名前に修正することができます。 
使用者パスワード	 ボタンを押すと、使用者パスワード設定メニューが表示され、各使用者ごとにパスワードを設定できます。 ※ 詳細は「2.7.2. 使用者パスワード設定」をご参照ください。
データ検索権限	 ボタンを押すと、録画データを再生できるチャンネルをユーザーごとに設定できます。 ※ このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※ 詳細は「2.7.3. データ検索権限設定」をご参照ください。
遠隔監視権限	 ボタンを押すと、ネットワーク上でアクセスできるチャンネルをユーザーごとに設定できます。 ※このメニューには、「管理者」権限でログインした使用者のみ、入ることができます。 ※詳細は「2.7.4 ネットワークアクセス権限設定」をご参照ください。
遠隔再生時間制限	一定時間操作がない場合にタイムアウトする時間を設定します。 (選択肢：5～60分、使用しない)

2.7.1 使用者権限設定

使用者ごとに各メニューにアクセスできる権限を設定します。

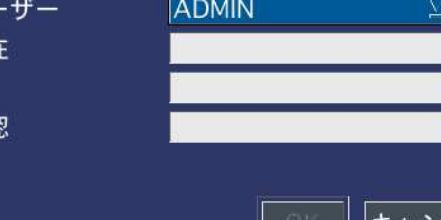
[illegible]

【 使用者権限設定メニュー 】

名 前	説 明
① パスワード	各使用者の現在のパスワードを表示します。ダブルクリックすると、パスワード変更の画面が表示されます。
② パスワード確認	設定/再生/PTZ/録画OFF/ネットワークを操作する時、使用者のパスワードを確認するかを設定します。チェックをはずした項目は、パスワードを入力しなくても操作することができません。
③ アクセス権限	設定/再生/PTZ/録画OFF/ネットワークの操作について、各使用者のアクセス権限を設定します。チェックをはずされたユーザーは、該当項目の操作ができなくなります。

2.7.2 使用者パスワード設定

各ユーザーのパスワードが変更できます。



ユーザー

現在

新

確認

ADMIN

OK

キャンセル

【 使用者パスワード設定メニュー 】

名 前	説 明
ユーザー	パスワードを設定・変更したいユーザーを選択します。 (選択肢：ADMIN（管理者） / USER1 / USER2 / USER3)
現在	 ボタンを押すとキーボードが表示されます。現在のパスワードを入力します。 ※ 各使用者のパスワードの工場出荷時の初期値は1111です。
新	 ボタンを押すとキーボードが表示されます。変更したいパスワードを入力します。
確認	 ボタンを押すとキーボードが表示されます。上記の「新」で入力したパスワードをもう一度入力します。

2.7.3 データ検索権限設定

使用者ごとに各チャンネルを再生できる権限を設定します。

1

2

3

【 データ検索権限設定メニュー 】

名 前	説 明
① 使用者	データ検索権限を設定する使用者を選択します。
② アクセスチャンネル	データ検索権限を設定するチャンネルを選択します。
③ 再生権限	各チャンネルのデータについて、各使用者の再生権限を設定します。チェックをはずされた使用者は、該当チャンネルの再生画面を見ることができません。

2.7.4 遠隔監視権限設定

使用者ごとにネットワーク上でアクセスできる権限を設定します。

1

2

3

【 遠隔監視権限設定メニュー 】

名 前	説 明
① 使用者	ネットワーク上でアクセスできる使用者を選択します。
② アクセスチャンネル	ネットワーク上でアクセスできるカメラチャンネルです。
③ アクセス権限	各チャンネルにアクセスできる各使用者の権限を設定します。 チェックをはずされた使用者は、該当チャンネルを見ることができません。 ※ADMIN は変更できません。

2.8 設定 – ネットワーク設定

設定メニューで【ネットワーク】  を選択します。メニュー項目はマウス/リモコン/本体パネルにて設定できます。キャンセルするには、リモコンと本体前面パネルにある「戻る（ESC）」ボタン又はOSDメニュー下部にある「キャンセル」をクリックして下さい。



【 ネットワーク設定メニュー 】

名 前	説 明
ポート番号	 ボタンを押すと表示される入力画面で、固有のネットワークポート番号を入力します。(初期値： 5445)ルーターなどを使用し、使用者のネットワーク内に複数のDVRが存在する時、各DVRに固有のポート番号を指定することで外部ネットワークからの接続が可能になります。
ネットワークオーディオポート	オーディオ用のネットワークポートです。 ポート番号を入力すると、自動で+1の番号が入力されます。
WEBポート	 ボタンを押すと表示される入力画面で、パソコンのウェブブラウザから接続するためのポート番号を入力します。(初期値： 80)
ネットワークタイプ	接続するネットワークタイプを選択します。(選択肢： 固定/DHCP) IP手動入力を使用する場合は「固定」、IP自動割当を使用する場合は「DHCP」を選択してください。
IPアドレス	DVRのIPアドレスを入力します。ネットワークタイプがDHCPの場合は、自動的に入力されます。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。ネットワークタイプがDHCPの場合は、自動的に入力されます。
ゲートウェイ	ゲートウェイを入力します。ネットワークタイプがDHCPの場合は、自動的に入力されます。
DNS(第1)	 ボタンを押すと表示される入力画面で、使用するDNSサーバーを指定します。
DNS(第2)	 ボタンを押すと表示される入力画面で、使用するDNSサーバーを指定します。
DDNS	ネットワークを通じてDVRにアクセスする時、IPアドレスではなくドメイン名で接続したい場合は、DDNSサーバーに登録し、DDNSサービスを利用することができます。 (選択肢： OFF/サーバー1/サーバー2) サーバー1かサーバー2を選択し、  ボタンを押すと表示されるDDNSサーバー設定画面で、使用するDDNSサーバーを設定します。 ※ 詳細は「2.8.3. DDNSサーバーの設定」をご参照ください。



ボタンを押すとネットワークストリーム設定画面が表示されます。

ネットワークストリーム

	RESOLUTION	FRAME RATE	画質
ALL	---	---	最高画質
1	640x360	15 FPS	最高画質
2	640x360	15 FPS	最高画質
3	CIF	15 FPS	最高画質
4	CIF	15 FPS	最高画質
			OK キャンセル

ネットワークを通じて外部のPCへ伝送するデータの解像度やフレームレート、画質をチャンネルごとに設定します。

2.8.1 ポート番号

ネットワークに接続時、内部的に使われる複数の通信プロトコル間の衝突を避けるために定義しておくそれぞれの内部通信ポート番号です。



遠隔バックアップおよびライブ/再生ストリーミング: ネットワーク -> ネットワーク ビデオ
ポート: 基本 ポート 5445 両方向オーディオ: ネットワーク-> ネットワーク オーディオ
ポート: 基本 ポート[5445 + 1] ウェブビューおよび遠隔ファームウェアのアップグレード
: ネットワークに -> ウェブ ポート:基本 ポート 80

2.8.2 ネットワークタイプ

2.8.2.1 DHCP

DHCPサーバーでDVRに自動でIPを割り当てます。

2.8.2.2 固定（手動設定）

ご使用のネットワークに合わせたIPアドレスを設定してください。

名 前	説 明
IP	DVRの固定IPアドレス
サブネットマスク	使用するネットワークのサブネットマスクアドレス
ゲートウェイ	使用するネットワークのゲートウェイアドレス
DNS (第1)	使用するネットワークの第1DNSのアドレス
DNS (第2)	使用する ネットワークの第2DNSのアドレス



注意：
DNSアドレスをきちんと設定しないとEメール機能とDDNSが作動しません。

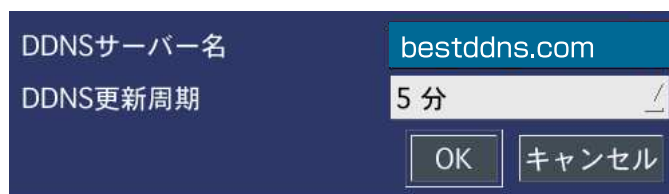
2.8.3 DDNSサーバーの設定

DDNSサーバーに登録したドメイン名で外部PCからアクセスすることができます。

※DDNS設定をご使用の場合、PCに詳しい方でなければ設定が難しい為、サポート対象外となります。

2.8.3.1 bestddns.comを利用する場合

「DDNS」項目に「サーバー1」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。



DDNSサーバー名 bestddns.com
DDNS更新周期 5 分
OK キャンセル

【 DNSサーバー1の設定メニュー 】

名 前	説 明
DDNSサーバー名	DDNSサーバー名を選択します。日本地域では、「bestddns.com」を選択してください。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲： 5～60分)

2.8.3.2 その他のDDNSサーバーを利用する場合

「DDNS」項目に「サーバー2」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。



DDNSサーバー名 user_id.dyndns.org
DDNS ID user_id
DDNSパスワード *****
DDNS更新周期 60 分
OK キャンセル

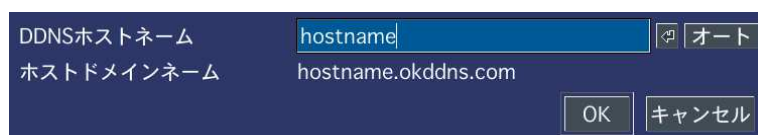
【 DNSサーバー2の設定メニュー 】

名 前	説 明
DDNSサーバー名	 ボタンを押しキーボードで、利用するDDNSサーバーのアドレスを入力します。
DDNS ID	 ボタンを押しキーボードで、DDNSサーバーに登録するIDを入力します。
DDSNパスワード	 ボタンを押しキーボードで、DDNSサーバーに登録するパスワードを入力します。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲： 5～60分)

2.8.3.3 ホストネームを直接入力したり自動登録する場合

「DDNS」項目に「サーバー3」を選択し、 ボタンを押すと、DDNS設定画面が表示されます。

ホストネームを直接入力したり自動登録できます。(自動登録時に装備のMACアドレスで登録されます)



DDNSホストネーム hostname オート
ホストドメインネーム hostname.okddns.com
OK キャンセル

操作方法

コントロールボタン(▲▼◀▶) で変更したい項目に移動し、本体の「決定」ボタンまたはリモコンの「決定 (SEL)」ボタンを押すか、マウスのダブルクリックで、項目の設定ができます。

※「ALL」の設定値を変更すると、全チャンネルの設定値が一度に変更できます。

名 前	説 明	
DDNSサーバー名		ボタンを押しキーボードで、利用するDDNSサーバーのアドレスを入力します。
DDNS ID		ボタンを押しキーボードで、DDNSサーバーに登録するIDを入力します。
DDNSパスワード		ボタンを押しキーボードで、DDNSサーバーに登録するパスワードを入力します。
DDNS更新周期	DDNSサーバーとの更新周期を設定します。(設定範囲： 5～60分)	

2.8.4 ネットワークストリームの設定

ストリーム時の下位項目（解像度、録画フレーム、画質）をチャンネルごとに設定します。

	RESOLUTION	FRAME RATE	画質
ALL	640 x 360	30	最高画質
1	640 x 360	30	最高画質
2	640 x 360	30	最高画質
3	640 x 360	30	最高画質
4	640 x 360	30	最高画質

【 ネットワークストリームの設定メニュー 】

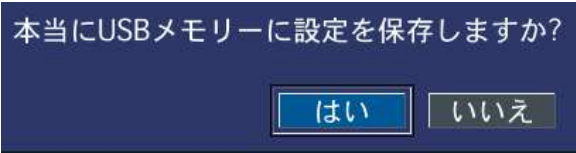
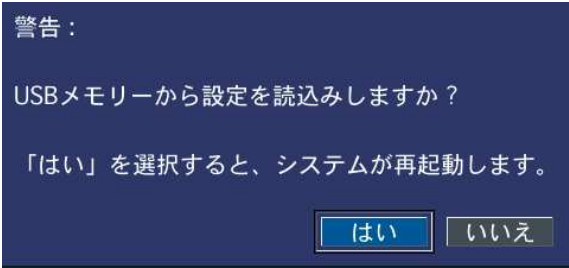
名 前	説 明
RESOLUTION	ネットワークストリームの解像度を設定します。（選択肢：640×360、320×180）
FRAME RATE	ネットワークストリーミングのフレームレートを設定します。（選択肢：1～15）
画質	ネットワークストリーミングの画質を選択します。 （選択肢：ネットワーク画質/標準画質/中画質/高画質/最高画質）

2.9 設定 — 設定管理

設定した内容の保存や初期化などができます。メニュー項目は本体パネル/マウス/リモコン/を使って設定できます。キャンセルするには、リモコンと本体前面パネルにある「決定（SEL）」ボタン又はOSDメニュー下部にある「キャンセル」をクリックして下さい。

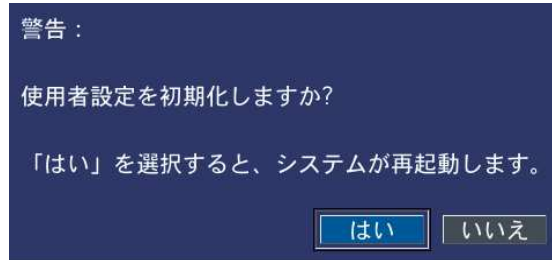


【 設定管理設定メニュー 】

名 前	説 明
	DVRの現在の設定値をUSBメモリーに保存します。USBメモリーをDVRのUSB端子に接続し、  ボタンを押すと選択画面が表示されます。「はい」を選択すると、USBメモリーの中に「config」－「HD-0413E」フォルダーが生成され、DVRの設定値がcfg形式で保存されます。
USBへ設定保存	
	USBメモリーに保存した設定値をDVRに呼び出します。USBメモリーをDVRのUSB端子に接続し、  ボタンを押すと選択画面が表示されます。「はい」を選択すると、USBメモリーの中のconfigフォルダーに保存されている設定値を読み取り、DVRの設定メニューに上書きします。
USBから設定読込	

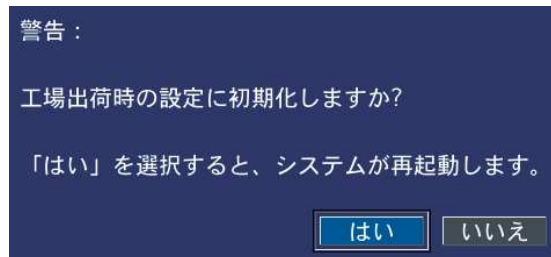
使用者設定を初期化します。但し、言語・DVRのID・使用者権限・使用者パスワード・日時の形式・DLS設定・ネットワーク設定・HDDシリアル番号・HDDエラー記録の設定は維持されます。
 ボタンを押すと表示される選択画面で「はい」を選択すると、DVRが再起動し、設定値が初期化されます。

使用者設定を戻す



すべての設定を工場出荷時に戻します。 ボタンを押すと表示される選択画面で「はい」を選択すると、DVRが再起動し、設定値が初期化されます。

工場出荷時に戻す

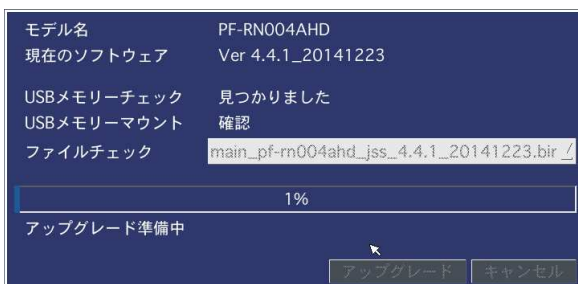
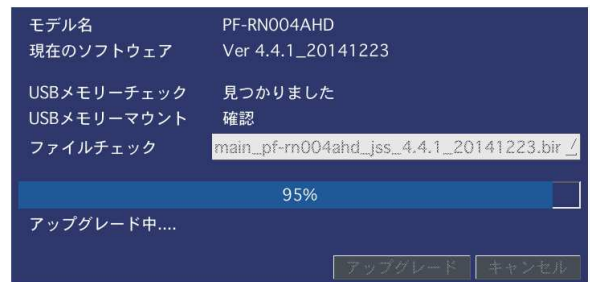


ソフトウェア
アップグレード

DVRのソフトウェアのバージョンアップをおこないます。
※詳細は「2.9.1 ソフトウェアアップグレード」をご参考ください。

2.9.1 ソフトウェア アップグレード

- ① USBフラッシュドライブルートディレクトリーに "Upgrade" という新しいフォルダーを作成します。
- ② "Upgrade" フォルダー内に新しいソフトウェアをコピーします。
- ③ 本体に新しいソフトウェアを入れたUSBフラッシュドライブを接続します。
- ④ 設定 -> 設定管理 を選択します。
- ⑤ ソフトウェアアップグレードの  ボタンを押します。
- ⑥ 下図の順序どおりの手順に従ってください。



右上に進みます

※本図の内容はイメージです。

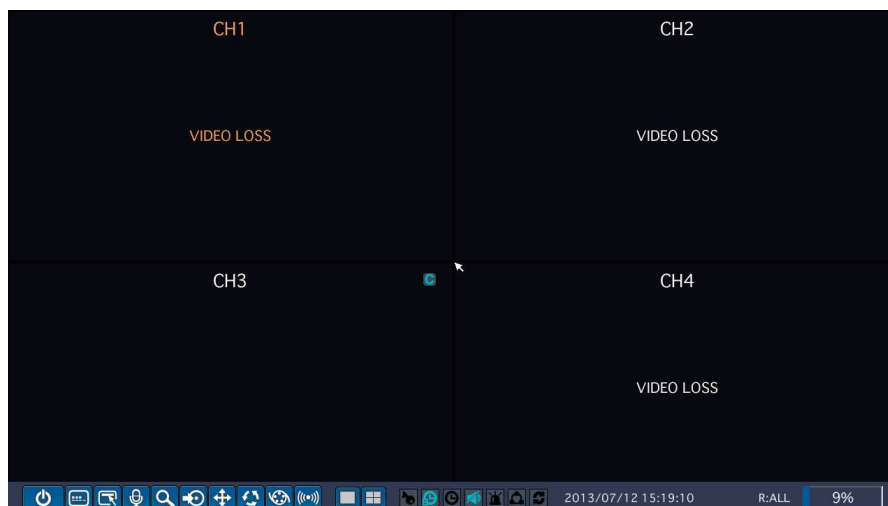


1. アップグレードしたソフトウェアはDVRが再起動される時まで適用されません。
 2. USBが接続された状態で再起動する場合、上記のような警告メッセージが出ます。:
- 警告: USBメモリーを取り外してください。

3 ライブ監視

3.1 ライブ画面

最初に電源を入れた後、DVRが起動すると下の図のような画面が出ます。各チャンネルにカメラが接続されていれば画面には該当カメラ画面が出ます。画面には現在製品の時間、各チャンネル別の録画オプション、ネットワーク接続状態などについてのアイコンが出ます。(マウスまたはリモコンによるメニューの設定ができます)



【ライブ画面メニューおよびアイコン説明】

名 前	説 明
	電源：DVRの電源をON/OFFします。
	システムロック：DVRの操作をロックします。クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。ロックの解除も同じ手順で行います。
	設定：設定メニューに入ります。※ 設定メニューの説明は「2. 設定のしかた」をご参照ください。
	音声：サブメニューから音声出力を選択できます。 (選択肢：消音 / CH1 音声出力 / CH2 音声出力 / CH3音声出力 / CH4音声出力)
	検索：検索メニューに入ります。※ 検索メニューの説明は「4. 検索と再生」をご参照ください。
	バックアップ: ライブ画像の静止画をUSBメモリーにバックアップします。 バックアップの前に、USBポートにUSBメモリーを接続してください。
	PTZカメラ制御: カメラ制御メニューにします。
	画面自動切替え: 画面自動切換え動作を開始/中止します。この機能は、1画面表示状態で動作します。
	手動録画: 手動録画を開始/中止します。手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。



アラーム出力: アラーム出力機能をON/OFFすることができます。



分割画面: 選択したチャンネルをフルスクリーンまたは分割画面に切り替わります。

2013/05/29 10:21:13

現在の日付と時間を表示します。

R:ALL

遠隔制御ID: 遠隔制御IDがない場合(R:ALL)と表示されます。



ハードディスクの使用容量を表示します。(0 ~ 99 %)



システムロックの状態を表示します。システムロック中は明るく表示されます。



アラーム出力ボタンでアラーム出力をON/OFFできます。実行する場合アイコンが表示されます。



アラーム出力状態の時、ライブ画面上にアイコンが表示されます。



音声の出力状態を表示します。
消音/1CH音声出力状態（オーディオ入力中の該当チャンネルが表示される）



イベント発生(モーション、センサーなど)に伴うイベント発生時アイコン表示されます。



SEQボタンによる画面切り替え機能が実行/中止アイコンが表示されます。



常時録画中の時、ライブ画面上に表示される/連続録画



すべての録画(イベント録画)を無視し手動録画を行う場合、ライブ画面上に表示されます。



モーション感知による録画中の時、ライブ画面上に表示されます。



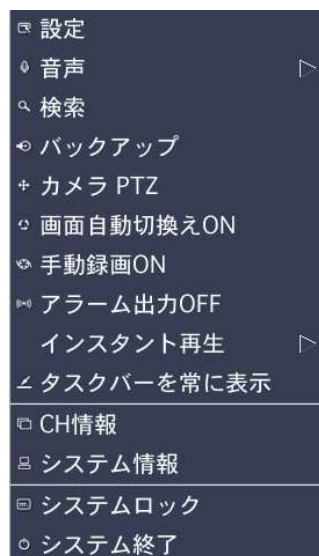
センサー感知による録画中の時、ライブ画面上に表示されます。



アラーム設定に伴うイベント発生時、イベントレコーディング表示とともに画面に出力されます。

3.2 ポップアップメニュー

ライブ画面の上にカーソルを位置させ、マウスの右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。



【ポップアップメニュー】

名 前	説 明
設定	設定メニューに入ります。 ※ 設定メニューの説明は「2. 設定のしかた」をご参照ください。
音声	サブメニューから音声出力を選択できます。 (選択肢：消音 / CH1 音声出力 / CH2 音声出力 / CH3音声出力 / CH4音声出力)
検索	検索メニューに入ります。 ※ 検索メニューの説明は「4. 検索と再生」をご参照ください。
バックアップ	ライブ画像の静止画をUSBメモリーにバックアップします。 バックアップの前に、USBポートにUSBメモリーを接続してください。
カメラPTZ	PTZカメラコントロールメニューに入ります。 ※ PTZメニューの説明は「5. PTZカメラの操作」をご参照ください。
画面自動切換え	画面自動切換え動作を開始/中止します。この機能は、1画面表示状態で動作します。
手動録画	手動録画を開始/中止します。 手動録画を始めると、「録画」メニューで設定した録画モードは無視されます。
アラーム出力	アラーム出力機能をON/OFFします。
インスタント再生	秒数前の録画を再生します。(選択肢：10～60秒前から再生)
タスクバーを常に表示 タスクバー自動隠し	クリックするごとに、ライブ画面の下部のタスクバーの自動隠し機能が設定/解除されます。 「タスクバーを常に表示させると表示が反転し「タスクバーの自動隠し」の表示になります。
CH情報	選択チャンネルの録画設定情報を表示します。 ※ 録画設定については「2.3. 設定録画」をご参照ください。

システム情報	システムの情報を表示します。 ※ システム情報は「システム」メニューの「システム情報」からも確認できます。
システムロック	使用者の操作をロックします。クリックして管理者のパスワードを入力すると、マウスやリモコン、前面パネルのボタンによる操作ができなくなります。 ロックの解除も同じ手順で行います。
システム終了	システムを終了します。

4 検索と再生

4.1 検索メニューの基本操作

4.1.1 検索画面に入るには

- ① 検索画面に入るには、以下のような方法があります。
 - ・ 前面パネルかリモコンの「SEARCH」ボタンを押します。
 - ・ メイン画面の下部のタスクバーからのアイコンをクリックします
 - ・ メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「検索」をクリックします。
- ② ログイン画面が表示され、パスワードを入れると検索画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、「2.1.2 設定画面に入るには」をご参照ください。

4.2 検索画面

メイン画面の下端にある



ボタンを押すかリモコンの“SEARCH”ボタンを押すと検索メニューが出ます。

ログイン - 再生

ユーザー	ADMIN
パスワード	

OK Cancel

【パスワードを入力してください。(初期パスワード：1111)】

設定されたパスワードを入力すると検索メインメニューに入ります。検索メニューは、クイックサーチ、タイムライン検索、イベント検索、先頭映像検索、最終映像検索、日時指定検索、キャプチャーリスト、ログ記録のメニューで構成されています。

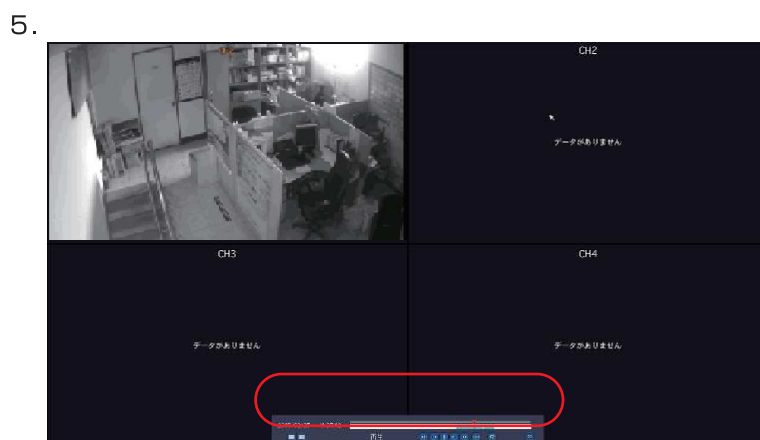
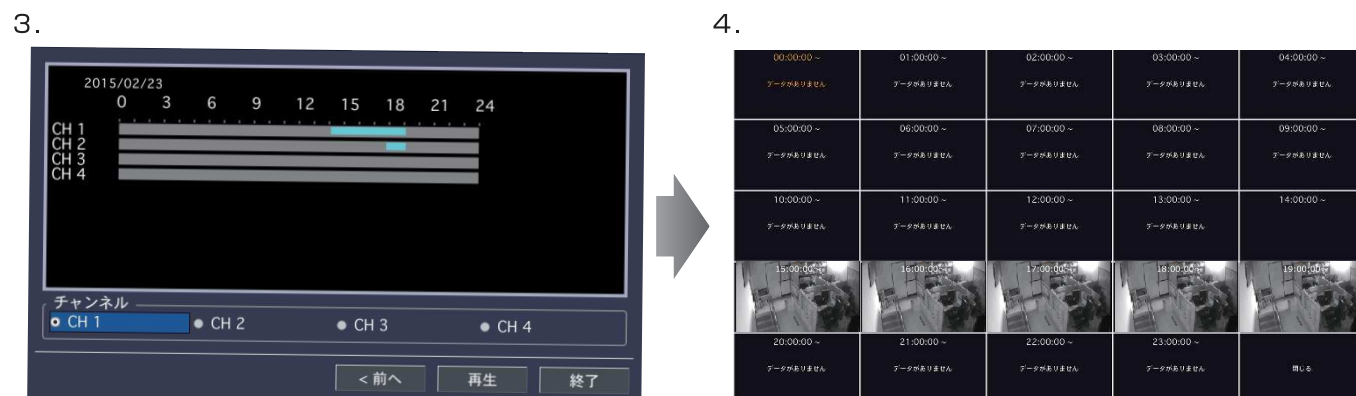
4.3 クイックサーチ

検索しやすいようサムネイルがリスト表示されます。時間、分、秒を選択し検索結果を絞りこみます。

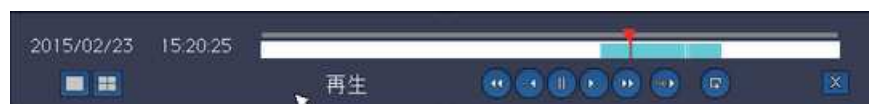


操作方法

1. 検索メニューで「クイックサーチ」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。
2. カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠で表示されています。
再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。
3. 検索画面で、チャンネルを選択し、「再生」をクリックします。
4. 録画された映像がサムネイル表示されます。
5. 目的のサムネイルをダブルクリックし、時間、分、秒と決定していきます。絞り込むと録画映像が再生されます。



4.11 再生の操作を参照下さい。



4.4 タイムライン検索

録画データをタイムラインで検索することができます。



タイムスケールの目盛りの単位を変更します。クリックするとタイムスケールの表示単位が24時間⇔60分に切り換ります。

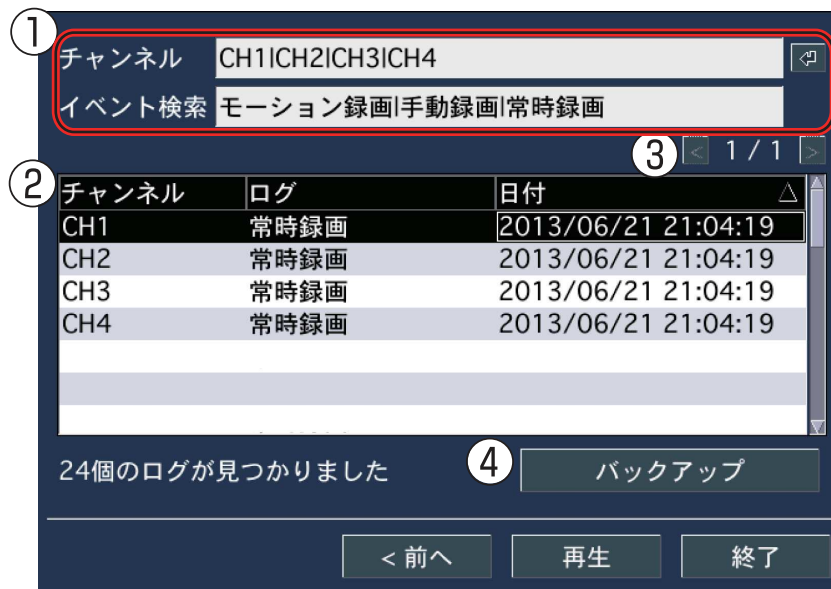
操作方法

1. 検索メニューで「タイムライン検索」を選択し、「次へ」をクリックするとカレンダーが表示されます。
2. カレンダーに、録画データのある日付は青色で、現在の選択日付は黄色の枠が表示されています。
3. 再生したいデータがある日付を選択し、「次へ」をクリックします。
4. タイムライン検索画面で、再生したい時刻やチャンネルを選択し、「再生」をクリックすると再生が始まります。

4.5 イベント検索

イベントの種類で録画データを検索することができます。





【 検索画面 】

名 前	説 明
① 検索条件	検索するチャンネルとイベントタイプを表示します。 をクリックすると表示される検索条件画面から、検索したいチャンネルやイベントのタイプにチェックを入れることで検索条件の指定ができます。検索したいチャンネルやイベントのタイプは、複数選択することができます。（選択肢：ALL / モーション録画 / センサー録画 / 手動録画 / 常時録画）
② ログ	指定した条件で検索されたログをリストで表示します。「チャンネル」、「ログ」、「日付」をクリックすることで、リストを各項目ごとに整列できます。
③ ページ	表示されたログリストのページを数字で表示します。ページが複数の時、 をクリックすると前/次のページを表示できます。
④ バックアップ	検索されたログを、txt形式のファイルでUSBメモリーに保存します。USBポートにUSBメモリーを接続し、このボタンをクリックすると、保存画面が表示されます。

4.6 先頭映像検索

検索メニューで「先頭映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDDに保存されている一番古い録画データの再生が始まります。

4.7 最終映像検索

検索メニューで「最終映像検索」を選択し、「再生」をクリックすると、HDDに保存されている録画データから一番最新の3分間のデータの再生が始まります。

4.8 日時指定検索

使用者が特定時間および日付を選択して検索できます。マウスまたは制御ボタン(◀ ▲ ▶ ▼)を使って検索位置を指定した後、再生ボタンを押してください。

4.9 キャプチャーリスト

以前に保存された動画または静止画などを検索してバックアップできます。(ただし再生されません)



操作方法

- ① ブックマーク保管されている日付を選択します。
- ② ブックマーク保管メニューに選択した日付に作業したバックアップリストが出ます。
- ③ 見たいデータを選択すると該当データの静止画が画面に出ます。
- ④ 映像が表示されればリモコンか本体前面パネルの「(バックアップ) BACKUP」ボタンまたはメニューの「バックアップ」ボタンを押します。

ブックマーク保管メニューはライブまたは再生時、動画、静止画などをバックアップしたリストを保管するメ

4.10 ログ

システムの全般的な記録を保管および該当ログ記録をバックアップできます。



システム記録を選択すると使用者はシステム記録が表示されたカレンダーを見られます。特定の日付を選択し次のボタンを押すとシステム記録が表示されます。システム記録をバックアップする場合「バックアップ」ボタンを押せばテキストファイル形式で保存されます。

4.11 再生時の操作

システムの全般的な記録を保管および該当ログ記録をバックアップできます。



下記の状態表示バーは自動で非表示になります。マウスのポインターを画面の下段に移動すると再び表示されます。

【再生画面メニュー】

名前	説明
	検索ウィンドウに戻る、又は前メニュー画面で終了
	押すたびに巻き戻し倍速が変わり画面下段に表示されます。 ◀(標準)→x 1、x 2、x 4、x 8、x 16、x 32倍速が繰り返されます。
	再生位置の1分前に移動します。
	再生と停止を行います。
	再生位置の1分後に移動します。
	押すたびに早送り倍速が変わり画面下段に表示されます。 ▶(標準)→x 2、x 4、x 8、x 16、x 32倍速が繰り返されます。
	再生画面の静止画および動画バックアップ
	スロー再生をします。1/2→1/4繰り返します。
	再生画面の表示を切替ます。

5 PTZカメラの操作

5.1 PTZカメラの基本操作

5.1.1 PTZカメラの接続と設定

- ① RS-485対応のPTZカメラを、DVRの後面パネルのRS-485ポート（D+、D-）に接続します。
- ② 「デバイス」メニューの「PTZ」項目で、PTZの設定を行います。
※ 詳細は「2.4.2.コントローラー& PTZ設定」をご参照ください。



5.1.2 PTZ操作画面に入るには

- ① 操作画面に入るには、以下のような方法があります。
 - ・メイン画面の下部のタスクバーから  のアイコンをクリックします。
 - ・メイン画面からマウスの右ボタンをクリックし、表示されるポップアップメニューから「カメラPTZ」をクリックします。
- ② ログイン画面が表示され、パスワードを入れるとPTZ操作画面が表示されます。ログイン方法は設定画面に入る時と同じですので、「2.1.2 設定画面に入るには」をご参照ください。

5.2 PTZ操作画面



【 PTZカメラ操作メニュー 】

名 前	説 明
初期化	選択したカメラのPTZ設定を初期化します。
パン/チルト	左右/上下ボタンを使って選択します。 上下&左右▲▼◀▶ボタンを使って位置を調整します。
ズーム/フォーカス	ズーム/フォーカスボタンを使って選択します。 上下ズームボタン/左右フォーカスボタンを使って調整します。
OSD表示	OSDメニュー入力を選択します。PTZカメラのOSDメニューが表示されます。▲▼◀▶ボタンを使ってPTZカメラOSDメニューの操作をしますが、設定方法については各PTZカメラの取扱説明書を参照してください。
オートスキャン	右 キー (▶)自動スキャン開始を押します。左 キー (◀)自動検査中止を押します。
プリセット	プリセットボタンを押して「ON」表示右側にある ◀◁ ボタンを押すと数字の入力ができます番号入力後、◀◁ 下のある「設定の保存」ボタンを押すとプリセットポジションの登録ができます。 番号入力後、◀◁ 下「移動」ボタンを押すと、番号入力したプリセットポジションを呼び出す事ができます。
ツアー	「ツアー」ボタンを押し、「ON」横にある ◀◁ ボタンを押すと数字の入力ができます。予め登録しておいたツアーシーケンスの登録NOを入力して「開始」ボタンを押すとツアーシーケンスが始まります。「停止」ボタンを押すと動作中のツアーシーケンスが停止します。
No:	プリセットおよびツアー番号が表示されます。メインメニューに戻るにはPTZ操作メニューの右上×ボタンを押すとウインドウは閉じます。

6 バックアップ

6.1 静止画バックアップ

静止画バックアップはライブ画面およびデータ再生時すべて可能です。製品の前面USB端子にUSBメモリーを接続します。

※USBメモリーはFAT32フォーマットをしてからご使用下さい。

- ① ライブ画面で“” ボタンを押して保存します。
- ② データ再生時“BACKUP”(リモコン)  (マウス)ボタンを押して保存します。

バックアップ順序

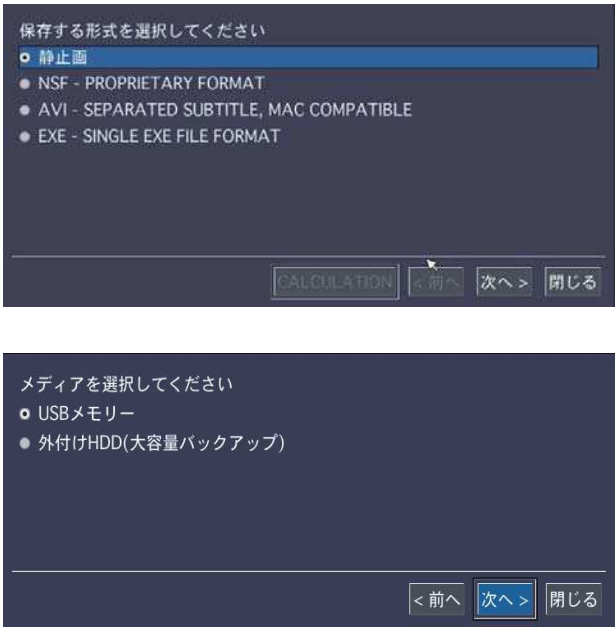
- ① ライブ画面下段の  ボタンを押した後、メディアを選択します。
- ② USBメモリーを選択すると該当媒体にデータがバックアップされます。ここで“ESC”ボタンを押して取り消しても後で検索メニューの“ブックマーク保管”メニューで再びバックアップが可能です。



【 静止画バックアップ画面】

6.2 動画バックアップ

動画バックアップはデータ再生時に可能です。製品のUSB端子にUSBメモリーまたは、外付けHDDを接続します。
※外付けHDDはNSFにて保存する場合のみ使用できます。

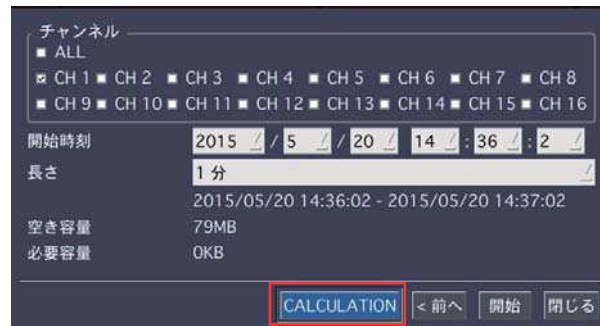


【 保存形式選択画面 】

名 前	説 明
静止画	BMP形式で画面の静止画を保存
NSF － PROPRIETARY FORMAT	本DVR専用のファイル形式で保存される。専用プレイヤー（HD Player）を使用して再生可能
AVI － SEPARATED SUBTITLE, MAC COMPATIBLET	汎用AVIプレイヤーで再生可能 （ご使用のAVIプレイヤーの設定等により見れない場合もあります）
EXE － SINGLE EXE FILE FORMAT	専用プレイヤーとデータファイルが一緒になっている実行ファイル形式のバックアップ

【メディア選択画面】

名 前	説 明
USBメモリー	USBポートにUSBメモリー接続して保存する場合 (パスワードタイプはご使用出来ません)
外付けHDD	大容量データのUSB外付けHDD (ACアダプターを使用するタイプのUSB外付けHDDのみ使用できます)



【保存形式選択画面】

名 前	説 明
開始時刻	バックアップしたい開始時刻を選択します。
長さ	バックアップしたい時間の長さを選択します。(1 ～ 60分まで選択可能)
空き容量	 ボタンを押すとUSBポートに使用した保存装置の空き容量を表示します。
必要容量	 ボタンを押すと選択したバックアップの時間に必要な容量を表示します。

バックアップ順序

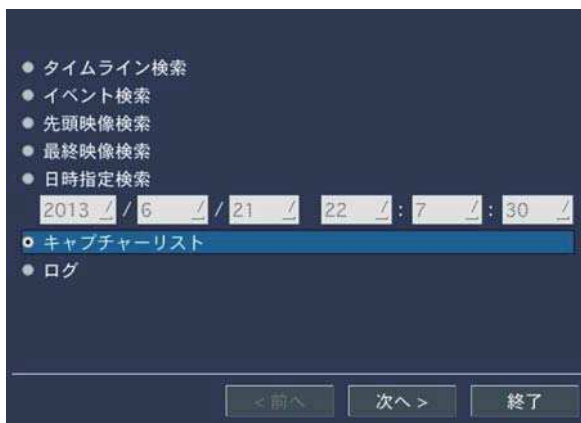
- ① データ再生時、バックアップしようとする映像で  ボタンを押します。
- ② 静止画および動画保存形式(NSF、AVI、EXE)を選択します。
- ③ 保存する装置を選択します。
- ④ バックアップしようとするチャンネルおよびバックアップ時間を選択します。(1 ～ 60分まで選択可能)。
- ⑤ マウスで“開始”またはリモコンまたは前面パネルの“決定”ボタンを押します。
- ⑥ 開始されると該当装置でバックアップが行われます。(USBメモリ、外付けHDD)

6.3 キャプチャーリストのバックアップ

ライブ監視や再生中にバックアップした静止画や動画の記録は、「検索」メニューの「キャプチャーリスト」から検索し、さらにバックアップすることができます。

バックアップ順序

- ① 検索メニューで「キャプチャーリスト」メニューを選択します。
- ② 表示されるカレンダーで保管された日付を選択します(保存された日付は青色で表示されます)
- ③ キャプチャーリストでバックアップしようとする項目を選択します。
- ④ 「画面表示」ボタンをもしくはリモコンの「SEL」ボタンを押すと該当ファイルの静止画が表示されます。
- ⑤ 「バックアップ」ボタンを押すと該当装置でバックアップが行われます。
装置が正しく設置されれば“保存完了”メッセージが出力されます。
- ⑥ 完了後、前のメニューに戻るためには“リモコンの「ESC」ボタンまたは「閉じる」ボタンを押してください。



6.4 バックアップ動画再生

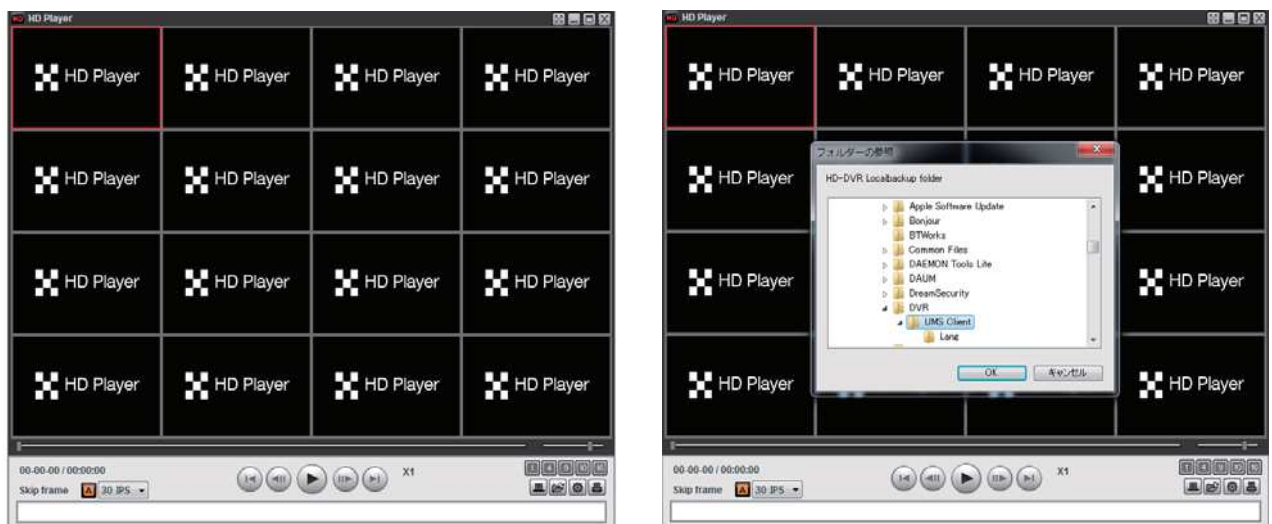
セキュリティのためのパスワードやアクセス権などが設定できます。

6.4.1 AVI方式

AVI方式はウィンドウズメディアプレイヤーまたはAVIフォーマットビデオと互換性のある他のメディアプレイヤーで再生できます。（設定コーデックの有無により再生できない場合があります）

6.4.2 NSF方式

NSF方式はUSBドライブ“HDPlayer”フォルダーに自動生成される“HDPlayer”を使って再生できます。またマウスを利用してデジタルズームアウト機能を使用できます。ファイルから保存先を選択します。



6.4.3 EXE方式

専用プレイヤーとデータファイルが一緒になっているので実行するだけで再生できます。

6.4.3 バックアップ再生

録画データをバックアップした動画ファイルは、一緒にバックアップされるHD PlayerでPCから再生することができます。

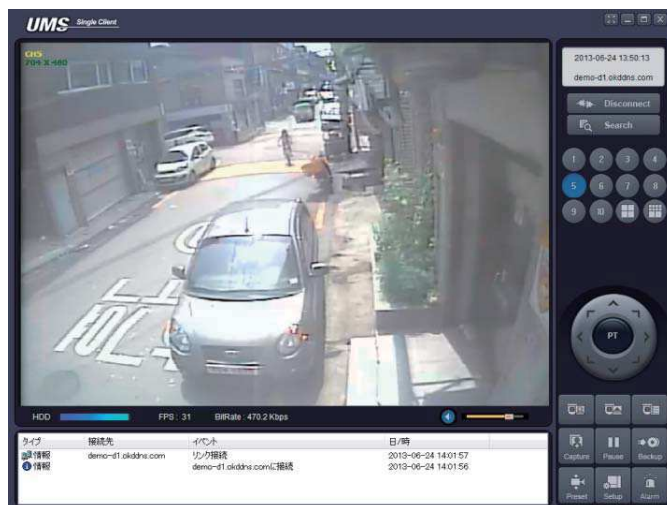


【 NTPバックアップ再生画面 】

名 前	説 明
画面表示部	バックアップ映像が表示されます。画面表示部をマウスの右ボタンでクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューの「Capture (S)」をクリックすると、表示中の画像がJPEGで保存されます。「Backup to AVI (B)」をクリックすると、AVI形式で保存されます。「About (A)」をクリックすると、設定画面が表示されます。
	HD Playerの画面表示部だけがフルスクリーンに表示します。フルスクリーン状態を解除するには、「ESC」ボタンをクリックしてください。
	HD Playerの画面を隠します。
	HD Playerの画面をフルスクリーンに表示します。
	HD Playerを終了します。
タイムバー	動画の再生時点をスライドノブで表示します。スライドノブをドラッグ&ドロップすることで、再生時点を移動することができます。
録画時刻	現在再生中の映像の録画された日付や時刻が表示されます。
録画チャンネル	現在再生中の映像のチャンネル番号が表示されます。
	クリックするごとにボタンが▶⇌⏸に切り替わります。⏸をクリックすると静止画を表示、▶をクリックすると再生を再開します。
	早戻し/早送りします。クリックするごとに再生速度が1倍速→2倍速→4倍速→8倍速に変わります。
	ボタンをクリックすると、現在再生中の時点より3秒前/先の映像にジャンプして再生します。
	再生画面を分割画面で表示します。
	音声記録のある動画ファイルを再生します。但し、音声記録機能のものに限ります。
	再生したい動画のあるフォルダーを選択します。
	設定画面を表示します。設定画面では、キャプチャー画像の保存フォルダーの指定や、バージョン情報の確認などができます。
	現在再生中の映像をプリンターでプリントします。

7 遠隔ファームウェアのアップグレード

使用者はネットワークを通してDVRの遠隔アップグレードができます。(UMS Single基準説明)



アップグレード手順

- ① まずUMS クライアントソフトウェアをインストールし、該当するDVRに接続します。
- ② 接続後、画面ウィンドウでマウス右ボタンを押すと左下の図の右のようなメニューが出ます。
- ③ 該当メニューから“遠隔設定”を選択します。
- ④ 遠隔設定を選択すると右下のような画面が出ます。ここにDVRパスワードを入力しログインします。



- ⑤ ログイン後メインメニューから“UPGRADE”タブ項目を選択します



- ⑥ ファイル選択を押してアップグレードファイルを選択した後“UPGRADE”ボタンを押すとアップグレードされます。

WEB SETUP (ver 1.10.4)

DISPLAY RECORD DEVICE STORAGE SYSTEM SECURITY NETWORK **UPGRADE** INFORMATION

Model Name : HD-0413L
Current Software : Ver 3.8.2_20131017

ファイルを選択 選択されていません

UPGRADE

RELOAD APPLY

System will restart automatically after S/W upgrade.
Please wait a few minutes.

- ⑦ アップグレードが完了するとWEB SETUPの初期画面が出て、再接続後ファームウェアバージョンを確認してください。

8 遠隔で操作するには

付属のクライアントソフトを使うと、DVRの画像をパソコンの画面から見るができます。

注意： 帯域幅が大きい場合は、1台のDVRに同時に接続できるPCの台数は4台までです。

帯域幅が小さい場合は、1台のDVRに接続するPCの台数は1台にすることをお勧めします。

注意：ルーターを通じてインターネットに接続している場合、ルーターのポート開放が必要です。

DVR本体のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、UMSクライアントからのバックアップ機能を利用したい場合は、基本ポート+1のポートを開放してください。

尚、UMSクライアントからの遠隔設定を行いたい場合は、基本ポート+10のポートと、Webポートを開放してください。

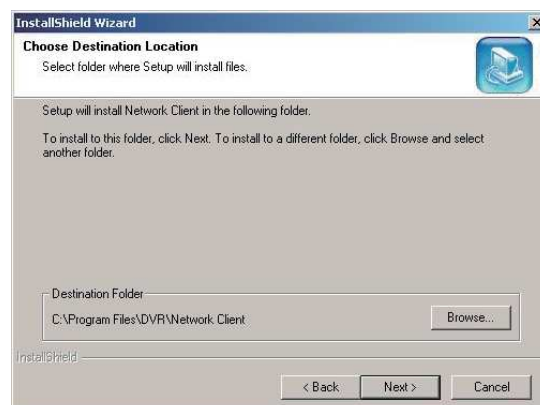
設定例) DVR本体のネットワークメニューに入力したポート番号が5445の場合、ルーターから5445/5446/5455の3つのポートや、Webポートの80を開放してください。

8.1 UMSクライアントソフトの最低可動環境

- CPU : Intel Core i3 1.8Ghz
- メモリー : 2GB DDR2
- VGA : 512MB
- 解像度 : 1280 x 720
- OS : Windws2000,XP/Professional,XP,Home, Vista/7/8
- ディスク空き容量:1GB以上
- DirectX : DirectX 9.0 以上

8.2 UMSクライアントソフトのインストール

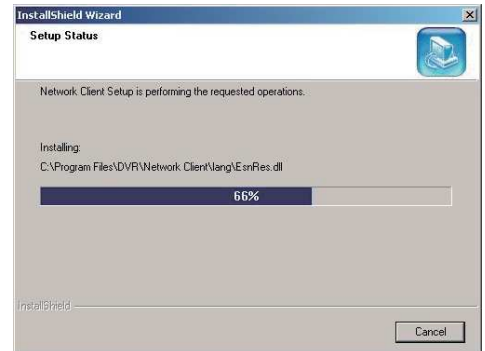
- ① 付属の CD-ROMを PCにセットして「UMSClient～.exe」と「UMSMClient～.exe」の2種類がありますので、ひとつずつインストールします。アイコンをダブルクリックするとインストーラーが起動します。
- ② 「Choose Destination Location」画面でインストール先のフォルダー確認して「Next」をクリックします。
インストール先のフォルダーを変更する場合は、「Browse」をクリックしてフォルダーを選択してください。



- ③ 「Select Program Folder」画面でプログラムフォルダーを確認して「Next」をクリックします。
プログラムフォルダーを変更する場合は、ボックスに直接入力するか、あるいは「Existing Folders」のリストから選択してください。



- ④ インストールが開始され、「Setup Status」画面にインストールの進行状況が表示されます。



- ⑤ インストールが終了すると、右図のような「UMS Client と UMSMulti Client)」のショートカットがデスクトップに表示されます。
- ⑥ アイコンをクリックすると、クライアントソフトが立ち上がります。



8.3 UMS クライアント “UMS Single Client” の設定と使用方法

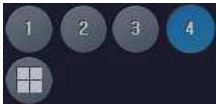
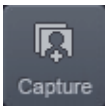
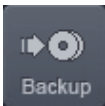
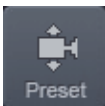
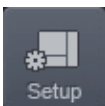
遠隔地にある DVR のカメラ映像を、PC から監視・再生することができます。



8.3.1 ライブモードの構成と各部のはたらき



メイン画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	DVRに接続されているカメラのライブ映像を表示します。 画面表示部にカーソルをのせると、左下にミニ画面が表示され、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
	日時情報	現在の日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	検索	ライブモードを検索モードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	パン/チルト/ズーム/フォーカス	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調節します。 中央のボタンをクリックすることによりパン/チルト⇄ズーム/フォーカスモードに切り替わります。
	キャプチャー	ライブ映像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、ライブ画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先はC:\¥Storage¥Captureがデフォルトに設定されています。
	再生/停止	ライブ映像を再生/一時停止させます。
	録画ON/ 録画 OFF	ライブ映像をパソコンのハードディスクに保存します。
	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
	アラーム	DVR側にアラームを発生させます。
	セットアップ	クライアントの設定画面を表示します。
	HDD容量	DVRのHDDの使用容量を表示します。
	ネットワーク状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	ボリューム 音声 ON/OFF	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックすると音声出力を入/切にすることもできます。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

8.3.1.1 接続のしかた：ローカル接続（インターネット非経由）

※英語表示になっている場合は“Language” から日本語に変更できます。
日本語を選んで、UMSClientを再起動してください。

① 画面右下のあるアイコン  をクリックします。

② サブウィンドウが開いたら、左メニューの【接続先】を選択、ウィンドウ右の【追加】をクリックします。

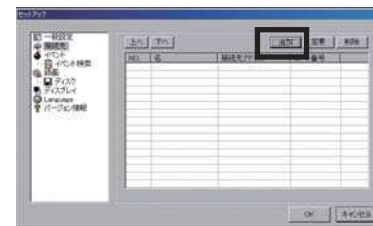
③ さらに【接続先追加】のサブウィンドウが開きますので、接続に必要な情報を入力します。

- モデル：接続する DVR のモデル群を選択します。⇒N Series DVR.HD,DVR を選択
- 接続先名：DVR に管理用の名称を付けます。
- 接続先アドレス：DVR のシステム情報に表示されている IP アドレスを入力します。
- ポート番号：DVR のネットワークメニューで設定したポート番号を入力します。
※“WEB ポート”ではありません
- ID：接続するユーザータイプを入力します。管理者の場合【admin】と入力します。
- パスワード：DVR の【セキュリティメニュー】で設定したネットワーク用のパスワードを入力します。 ※工場出荷時初期設定：1111
- チャンネル：DVR のチャンネル数に合わせます。

④ 【OK】をクリックすると、接続先が登録されリストに表示されます。

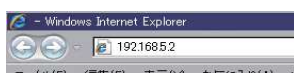
※登録可能な接続先数は、制限されていません。

⑤ メイン画面に戻ったら画面右上のアイコン  をクリックし接続します。



画面に映像が表示されない場合

メイン画面下のログウィンドウに「リンク接続」が表示されているのに画面にカメラ映像が表示されない場合は、上記の接続先追加の際に「接続先アドレス」で入力した IP アドレスをインターネットエクスプローラーのアドレスバーに入力して、キーボードの Enter (Return) キーを押してください。



「Web Client」の画面が出たら、右上の接続ボタン  をクリックしてください

セキュリティの警告のウィンドウが出ましたら「実行する」を押してください。警告バーにアドオンのインストールの確認が表示されますので、クリックしてください。



ウィンドウが開いて「Nadatel-WebViewer」のインストールの確認が表示されますので、インストールをクリックしてください。



インストール後、PCを再起動してください。再起動後、UMS Clientを起動して再接続してください。

8.3.1.2 接続のしかた：インターネット経由

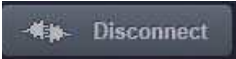
インターネット経由での接続には、ポート開放(ポートフォワーディング)が必要です。

DVR本体のネットワークメニューに設定されている基本ポート以外に、基本ポート+1のポートを解放してください。

※IPアドレス /サブネットマスク /ゲートウェイ /DNS情報が不明な場合は固定 IPを取得したプロバイダーにお問い合わせください。

※DDNS設定をご使用の場合、PCに詳しい方でなければ設定が難しい為、サポート対象外になります。

8.3.1.3 接続の切断

画面右上にあるアイコン  をクリックします。

8.3.1.4 UMSクライアントのデジタルズーム機能

DVR 本体と同様、UMS クライアントでもライブ画面のデジタルズームが可能です。

- ① UMS クライアントの画面表示部にカーソルを移動させ、デジタルズームさせたいライブ画像をダブルクリックし画面表示部に 1 画面に表示します。画面左下にミニ画面が表示されます。表示されない場合、カーソルを移動させるとミニ画面が表示されます。
- ② マウスホイールのスクロール操作により、表示されている画像がズームイン・アウトします。ミニ画面の赤い枠は現在表示されている領域を示します。
- ③ ズームした画面上でマウスを左クリックしながらドラッグするとズーム表示の位置を移動します。



※再生画面も同じ方法でズームすることができます。

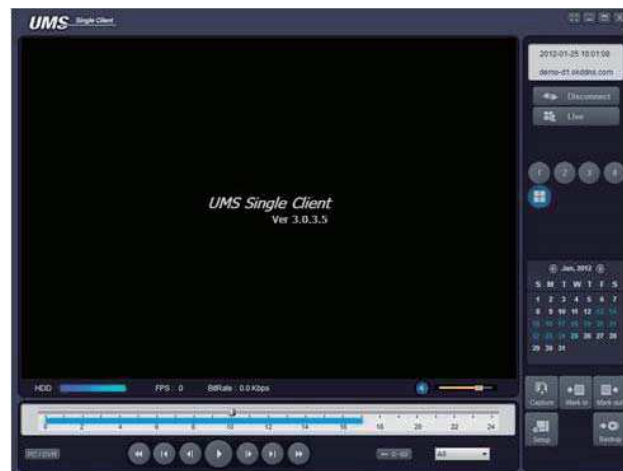
8.3.1.5 双方向オーディオ

UMS クライアント側と DVR 側の双方向オーディオ通信ができます。

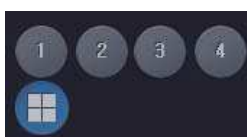
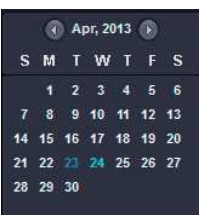
- PC (UMS クライアント) 側：マイクスピーカーに対応するサウンドカードが必要です。
- DVR 側：マイクを音声入力端子に接続し、スピーカーを音声出力端子に接続します。

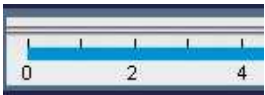
8.3.2 検索モードの構成と各部のはたらき

画面右上の  Search ボタンを押すと画面が切り替わります。



検索画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	検索	検索モードをライブモードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択チャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で表示します。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先はC:\Storage\Captureがデフォルトに設定されています。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
	バックアップ	DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画映像をAVI形式でバックアップします。

	タイムラインバー	24時間か60分を標示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライド&ドロップをすることで再生したい時刻に移動できます。
	PC/DVR	パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。 タイムライン上で再生したい時刻を選択し  クリックすると再生が始まります。再生中に  クリックすると一時停止します。
	1フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態でクリックすると1フレームずつ再生されます。
	1分ずつ再生	クリックするごとに1分先/1分前の映像にスキップされます。
	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。 1x→2x→4x→8x→16x→32x
	時間単位表示/ 分単位表示	クリックするごとにタイムラインが選択した日の24時間の表示/選択した時間の60分間の表示に切り換わります。

8.3.2.1 動画のバックアップ

DVRかPCのハードディスクに保存されている録画データを動画ファイルでバックアップすることができます。

予め  Search 画面にて再生したい接続先に接続しておきます。

- ①  でPCのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを指定します。

 はクリックするごとにカラーが変色します。ブルーの場合はPCに保存しているデータの再生、グレーの場合はDVRに保存しているデータを再生できます。PCの保存データを再生する場合、日時情報に「パソコンの保存データを再生」と表示されます。

2015-06-18 00:00:00
パソコンの保存データを再生

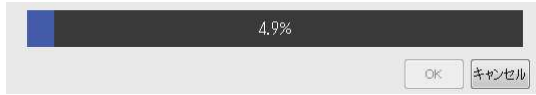
- ② UMSクライアントの  をクリックすると保存しておいたデータが再生されます。
- ③ タイムラインバー上のバックアップしたいデータの先頭時刻をクリックし、 をクリックすると選択部分がバックアップする開始時刻として指定されます。
- ④ 指定した開始時刻のスライドノブを終了時刻に移動させます。ドラッグ&ドロップしながら終了したい時刻に移動させます。ドラッグ&ドロップしている間、スライドノブに赤い線が入ります。終了時刻になりましたらドラッグ&ドロップを終了し  をクリックすると選択時間がバックアップする終了時刻として指定され開始時刻から終了時刻の区間が緑色に変色します。



- ⑤ バックアップする区間が緑色に切り替わった状態で  をクリックするとバックアップのダイアログ画面が表示されます。



- チャンネル選択：バックアップするチャンネルを選択します。
 - 開始点/終了点：バックアップする時間を再指定することができます。
 - 保存場所：バックアップファイルが保存されるフォルダーを指定します。※デフォルトはC:\Storage\Backup
 - ファイル形式：AVIファイル形式で保存されます。
- ⑥ バックアップの設定が終わり「OK」をクリックすると、プログレスゲージに進行状況が表示されバックアップがはじまります。



8.3.3 設定のしかた



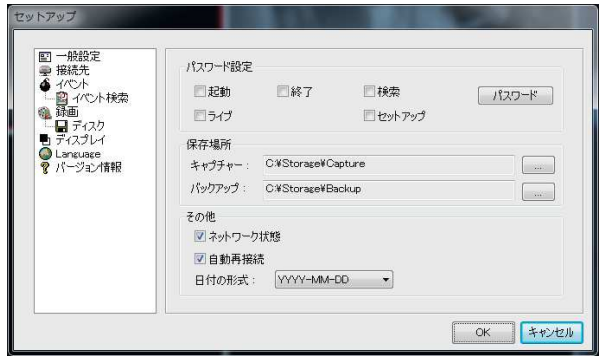
をクリックし、UMSクライアントの設定を変更・確認します。

一般設定

パスワード設定：各操作項目にチェックをいれると、その操作を行う時にパスワードが必要になります。
「パスワード」をクリックするとパスワードを設定できます。

保存場所：キャプチャーした静止画か、バックアップした画像ファイルを保存する場所を指定します。

ネットワーク状態：ライブモードで、FPSやBitRataなどのネットワークのステータスを表示します。

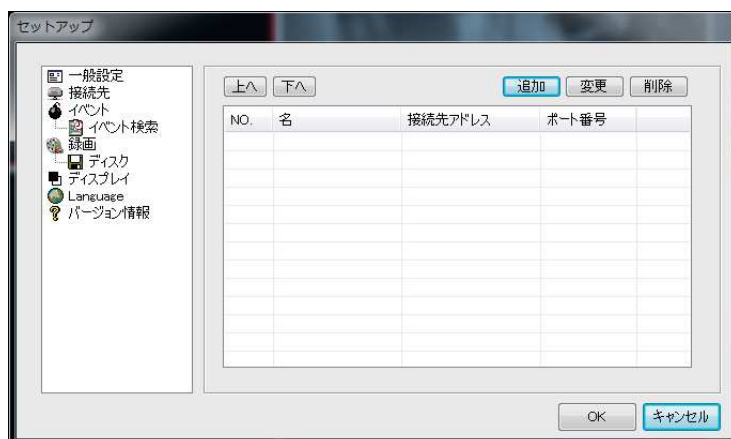


自動再接続 : 何かしらの原因でネットワークが切断された時、
自動的に再接続を行います。

日付の形式 : 日付の表示形式を選択します。

接続先

接続したいDVRのSite名、IPアドレス、ポート番号
パスワードを登録し、UMSクライアントから接続す
ることができます。接続先の登録には制限がなく、
すでに登録されている接続先の情報を変更・削除す
ることもできます。



イベント

ログ : UMSクライアントでイベントが発生した
ログのリストを保存するフォルダと制限容量を設
定します。

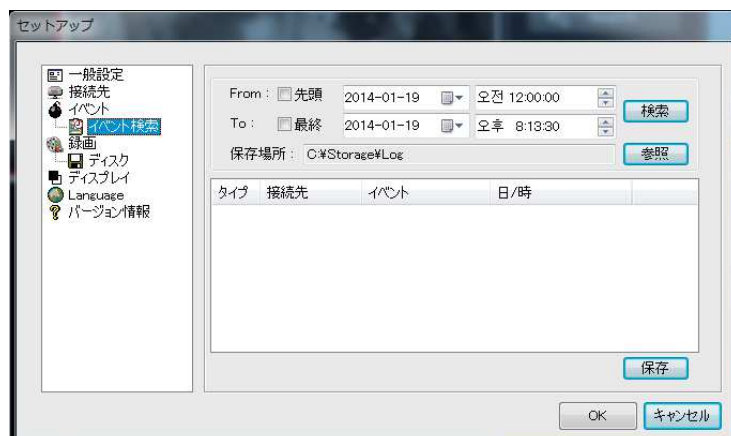
イベント設定 : 各イベント項目にチェックを入れ、
そのイベントが発生した時にログリストに記録する
か/ライブ画面にアイコンを表示するか/ライブ画面
の下部のロウインドウに表示するかを設定します。



イベント検索

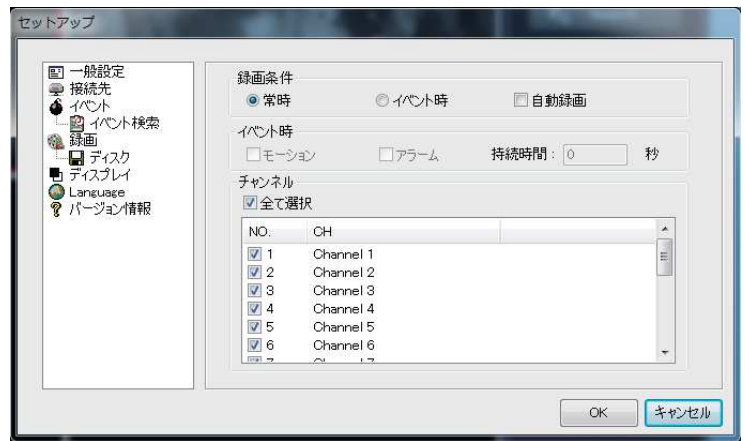
イベントの発生記録を検索したい日時範囲に指定し、
「検索」をクリックすると、指定範囲内に発生した
イベントのリストが表示されます。

保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」に、
保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」に
チェックを入れて下さい。



録画

UMS クライアントでライブ画面を得奥がする時の条件、イベントの種類、チャンネルなどを設定します。



ディスク

UMS クライアントでライブ画面を録画したデータを保存するパソコンのディスクと、データの最大容量を指定します。

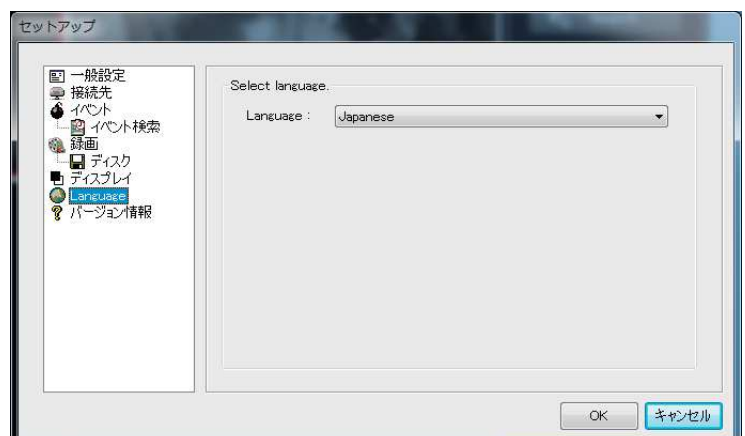


ディスプレイ

複数のモニターを使用する際、UMS 映像が乱れる場合に使用してください。

Language

UMS クライアントは 20 か国語対応しています。使用する言語を変更し、一度プログラムを終了します。再度立ち上げると適用されます。



バージョン情報

お使いの UMS バージョンを確認できます。

8.3.4 ポップアップメニュー

UMS クライアント画面の上にカーソルを移動させ、マウス右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。

接続 / 切断

接続先に接続します。接続先に接続している場合は切断の表示になります。

High Quality

解像度を 1920×1080 にする事ができます。
(選択肢：全てのチャンネル、選択チャンネルのみ)

Normal Quality

解像度を 640×352 にする事ができます。
(選択肢：全てのチャンネル、選択チャンネルのみ)

I フレームのみ伝送

基準になる画像のみを伝送します。

マイク ON

PC に接続されているマイクを利用し、DVR が設置されている現場に音声を送ることができます。

フルスクリーン

UMS クライアントの画面表示部だけをフルスクリーンで表示します。
フルスクリーン表示を解除する場合は PC キーボードの「Esc」にて解除します。

セットアップ

UMC クライアントの設定を行います。
※詳細は「7.3.3 設定のしかた」を参照下さい。

遠隔監視

接続中の DVR 本体の設定を遠隔から変更できます。
※詳細は「7.3.5 遠隔設定」を参照下さい。

ロック

クリックすると、パスワードの入力ダイアログが表示されます。パスワードを入力すると画面表示部のマウス右クリック以外は操作できなくなります。
ロックの解除は同じ手順で行います。
※ロック設定・解除に入力するパスワードは、セットアップのパスワード設定と関係はなく、4～8桁の臨時のものを使用します。

終了

UMC クライアントソフトを終了します。



8.3.5 遠隔設定

接続中の DVR 本体の設定を遠隔で変更します。

- ① ポップアップメニューから「遠隔操作」をクリックすると、パスワード入力画面に移行します。
- ② パスワードを入力すると、遠隔設定の画面が表示されます。
※初期設定パスワード【1111】
- ③ 設定を変更し、右下の「APPLY」をクリックすると、変更した設定内容が DVR 本体に反映されます。



※各設定項目の詳細内容は「2. 設定のしかた」をご参照ください。

※遠隔設定では、DVR 本体の「セキュリティ」、「設定管理」、「簡単設定」の設定は出来ません。

8.4 UMSクライアント” UMS Multi Client ”の設定と使用

遠隔地にある複数の DVR のカメラ映像を PC から監視・再生することができます。

8.4.1 接続のしかた

8.4.1.1 接続先の登録

UMS マルチクライアントから DVR に接続するには、接続したい DVR の情報をあらかじめ登録しておく必要があります。

- ① UMSマルチクライアントが立ち上がったら画面の左側の操作パネルの上部にある  アイコンをクリックします。
- ② 「接続先追加」画面が表示されると、接続に必要なアドレス情報などを入力します。

接続先追加

接続先情報

モデル:

接続先名:

接続先アドレス:

ポート番号:

ID:

パスワード:

OK キャンセル

- モデル： 接続するDVRのモデル群を選択します。⇒N Series DVD,HD DVRを選択
- 接続先名： DVR に、管理者用の名称をつけてください。
- 接続先アドレス： DVR のシステム情報に表示されているIP アドレスを入力します。
- ポート番号： DVR のネットワークメニューで設定したポート番号を入力します。
※“WEB ポート”ではありません
- ID： 接続するユーザー ID を入力します、管理者の場合「admin」と入力します。
- パスワード： DVR の「セキュリティ」メニューで設定したネットワーク用のパスワードを入力します。
※ 工場出荷時初期設定値：1111

- ④ 「OK」をクリックすると、接続先が登録され、リストに表示されます。

※登録可能な接続先の数は、制限されていません。

8.4.1.2 接続先の接続

- ① 接続先リストから、接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れます。
チェックは複数選択可能です。同時に接続できる接続先の数は16か所です。

- ②  をクリックすると、チェックされた接続先に接続されます。



8.4.1.3 接続の切断

-  をクリックすると、チェックした接続先の接続が切断されます。

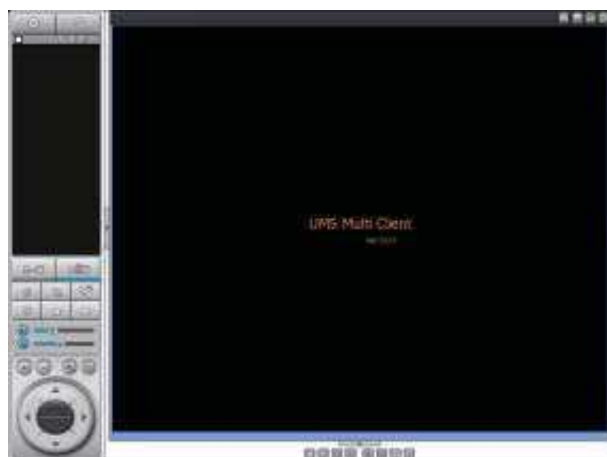


8.4.1.4 接続先の設定変更

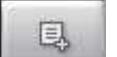
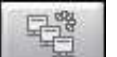
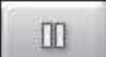
接続先リストから設定変更したい接続先を右クリックして「接続」を選択します。内容を変更後 OK をクリックしてください。

8.4.2 ライブモードの構成と各部のはたらき

UMS クライアントを立ち上げると最初に表示される画面です。ライブ映像の監視や設定ができます。



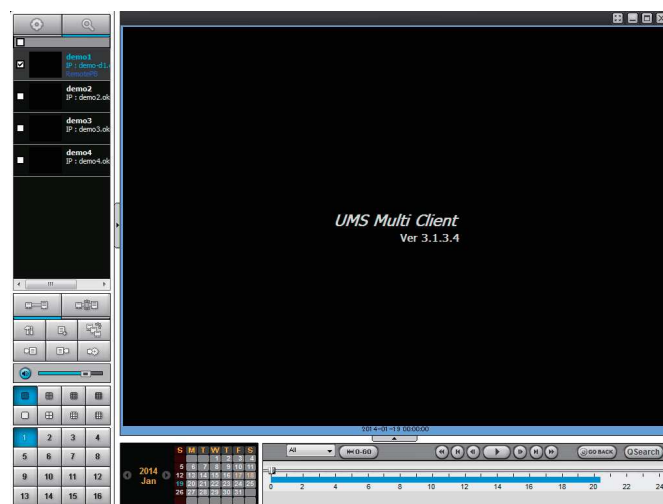
メイン画面のコントロールボタン

ボタン	機能
 パソコンの保存データを再生	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると再生画面が表示されます。
 DVR の保存データを再生	DVR のハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると再生画面が表示されます。
 接続先リスト	使用者が登録した全ての接続先を表示します。 接続中の接続先は「Connected」と表示されます。  サムネール更新：接続中の接続先のサムネールを更新します。  接続先の追加：接続中の接続先のサムネールを更新します。  接続先の削除：ハイライトされている接続先をリストから削除します。 接続中の接続先削除は出来ません。  ネット検索：登録されている接続先のリストが表示され、接続先の追加・削除・変更することができます。
 接続	接続先に接続します。 クリックする前に接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れてください。
 切断	接続先を切断します。 クリックする前に接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れてください。
 セットアップ	UMS マルチクライアントの全般的な設定を行います。
 キャプチャー	ライブ画面を静止画でキャプチャーします。
 イベントリスト	プログラム起動時から終了までのイベントログが閲覧できます。
 一時停止 / リスタート	ライブ画面を一時停止、リスタートさせます。
 アラーム ON/ アラーム OFF	DVR 側に接続してあるアラームを点灯するかしないか選べます。
 録画 ON/ 録画 OFF	PC のハードディスクに映像を録画します。録画中は OFF になります。
 音声	ライブ映像の出力音声を調整します。  をクリックすると音声出力の入 / 切が切替わります。
 マイク	マイクの出力音量を調整します。  をクリックすると音声出力の入 / 切が切替わります。

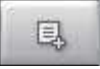
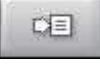
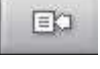
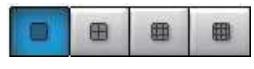
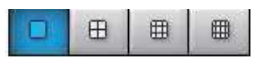
 PTZ 操作	DVR に接続されている PTZ カメラの操作ができます。 パン / チルト / ズーム / フォーカスを設定します。 ● PT をクリックすると ● ZF に切り替わります。
 CH 分割 / カメラ切換え	ハイライトされた接続先の映像を 1/4/9/16 画面で表示します。  カメラを切替えます。
 接続先分割 / DVR 切換え	画面に表示する接続先の数を選択します。 1/4/9/16 カ所で表示できます。  DVR を切替えます
 カメラプリセット	プリセット設定を行います。
 スキャン	PTZ カメラのスキャンを行います。
 ツアー	PTZ カメラのツアー動作を行います。
 メニュー	PTZ メニューを開きます。

8.4.3 検索モードの構成と各部のはたらき

操作パネルの一番上の「パソコンの保存データを再生」 / 「DVR の保存データを再生」ボタンをクリックすると、再生モードの画面が表示されます。使用者のパソコンのハードディスクに保存した映像や、遠隔地の DVR のハードディスクに保存されている映像を再生することができます。



検索画面のコントロールボタン

ボタン	機能
 パソコンの保存データを再生	パソコンのハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると再生画面が表示されます。
 DVR の保存データを再生	DVR のハードディスクに保存された動画を再生します。 クリックすると再生画面が表示されます。
 接続先リスト	使用者が登録した全ての接続先を表示します。 DVR のハードディスクに保存されている動画を検索する時、接続中の接続先は「Remote PB」と表示されます。
 接続	接続先に接続します。 クリックする前に接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れてください。
 切断	接続先を切断します。 クリックする前に接続したい接続先のチェックボックスにチェックを入れてください。
 セットアップ	UMS マルチクライアントの全般的な設定を行います。 詳細は「8.4.4 セットアップのしかた」を参照下さい。
 キャプチャー	再生画面を静止画でキャプチャーします。
 イベントリスト	プログラム起動時から終了までのイベントログが閲覧できます。
 開始点	動画でバックアップしたい再生映像の開始点を指定します。
 終了点	動画でバックアップしたい再生映像の終了点を指定します。
 バックアップ	指定した映像範囲を動画でバックアップすることができます。
 音声	ライブ映像の出力音声を調整します。  をクリックすると音声出力の入 / 切が切替わります。
 接続先分割	画面に表示する接続先の数を選択します。 1/4/9/16 カ所で表示できます。
 CH 分割	ハイライトされた接続先の映像を 1/4/9/16 画面で表示します。

	1 画面で表示したいチャンネルを選択します。
	カレンダーからデータを再生したい日付を選択します。  をクリックすると前月、 をクリックすると次月に切替わります。 録画データのある日付はオレンジ色、選択された日付は水色に表示されます。
	データを検索したいチャンネルを選択します。 選択したチャンネルの保存データがタイムライン上に表示されます。
	1 日または 1 時間をタイムラインで表示します。 録画データのある時間帯はタイムライン上に水色 f で表示されます。
	タイムラインの目盛りの単位を標示します。  をクリックすると選択した日付のデータが 24 時間表示されます。  をクリックすると 1 時間分のデータが 60 分表示されます。
	再生画面を操作します。 再生 / 一時停止 / 早送り / 早戻し / 1 分スキップの操作ができます。

8.4.3.1 再生のしかた

DVR や PC のハードディスクに保存されている録画データを検索し再生することができます。

- ① ライブ画面の操作パネルから、PC のハードディスクに保存されているデータを再生したい場合、 をクリック、DVR のハードディスクに保存されているデータを再生するには  をクリックします。
- ② 接続先リストからデータを検索したい接続先のチェックボックスにチェックを入れ、 をクリックします。※PC のハードディスクのデータを検索する場合はこの作業を行う必要はありません。
- ③ カレンダーからデータを検索したい日付をクリックします。
録画データのある日付はオレンジに、選択された日付は水色に表示されます。
- ④ 選択された日の録画データをタイムラインから確認します。録画データのある時間帯はタイムライン上で水色の線が表示されます。
- ⑤ タイムラインの上のスライドノブをドラック＆ドロップするか、あるいはタイムライン上をクリックすることで再生を開始するポイントを指定します。
タイムラインの目盛りを「24 時間」から「60 分に切替えると、再生の開始ポイントがさらに正確に指定できます。



切換え

時間単位



分単位

- ⑥  をクリックすると再生が始まります。

再生中のコントロールボタンは下記の機能があります。

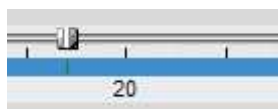
ボタン	機能
 再生 / 一時停止	クリックするごとに映像の再生、静止に切替わります。
 早送り / 早戻し	クリックするごとに再生速度が x1、x2、x4、x8、x16 に切替わります。
 1 分スキップ	現在の再生ポイントから 1 分前・先にジャンプします。
 コマ送り	クリックするごとに前・先と 1 フレーム先の画像を表示します。

8.4.3.2 動画のバックアップ

DVR や PC のハードディスクに保存されている録画データを動画でバックアップすることができます。

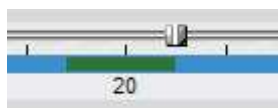
- ① タイムラインで録画データのある時間帯を確認します。

- ② スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の開始点に移動して  をクリックします。



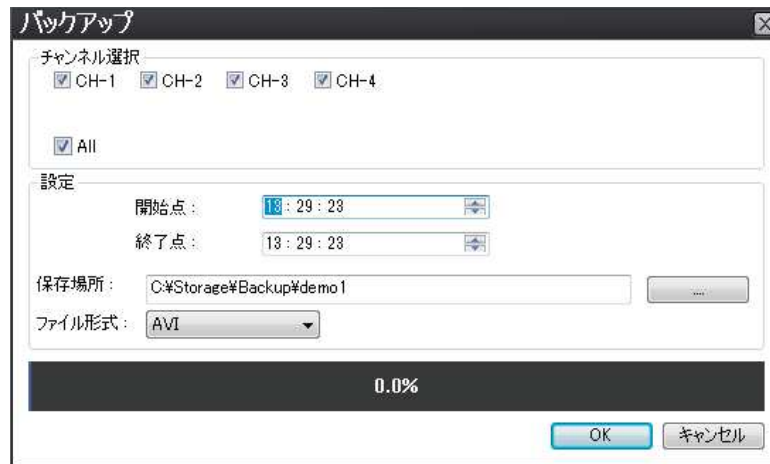
指定された開始点に濃い緑色の線が表示されます。

- ③ スライドノブをバックアップしたいデータの範囲の終了点に移動して  をクリックします。



指定された開始点から終了点までの範囲が濃い緑色の線が表示されます。

- ④  をクリックするとバックアップ画面が表示されます。



⑤ バックアップ画面で設定を行います。

- チャンネル選択： バックアップしたいチャンネルを選択します。
- 開始点： 指定したバックアップ範囲の開始点をさらに変更できます。
- 終了点： 指定したバックアップ範囲の終了点をさらに変更できます。
- 保存場所： バックアップした動画を保存する場所を指定します。

※セットアップメニューの一般設定でも指定できます。

⑥ 「OK」をクリックすると、バックアップがはじまりプログレスゲージに進行状態が表示されます。

⑦ バックアップされたファイル名は「チャンネル番号 + 録画時刻 + ファイルの形式」で保存されます。

例) [CH4]04_11_58.avi=4 番チャンネルの 4 時 11 分 58 秒からの録画映像の動画ファイル

⑧ AVI 形式もしくは NSF 形式にて保存されます。

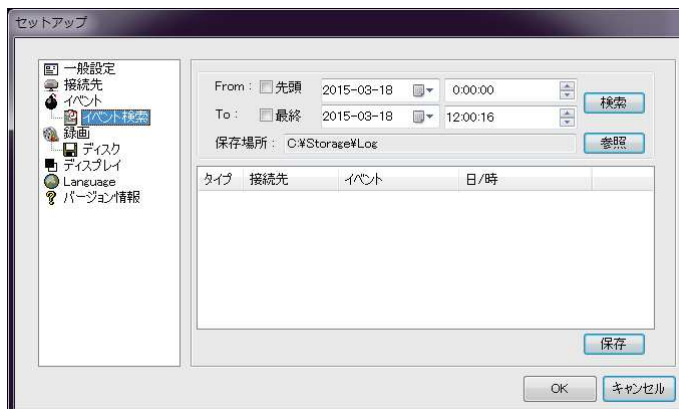
- AVI 形式で保存された動画ファイルは、Windows Media Player など、AVI 対応の映像再生ソフトで再生されます。
- (映像再生ソフトの設定やコーデックの有無により再生できない場合があります)
NSF 形式とは本 DVR 専用のファイル形式で保存される。専用プレーヤー (HD Player) を使用して再生します。

8.4.4 セットアップのしかた



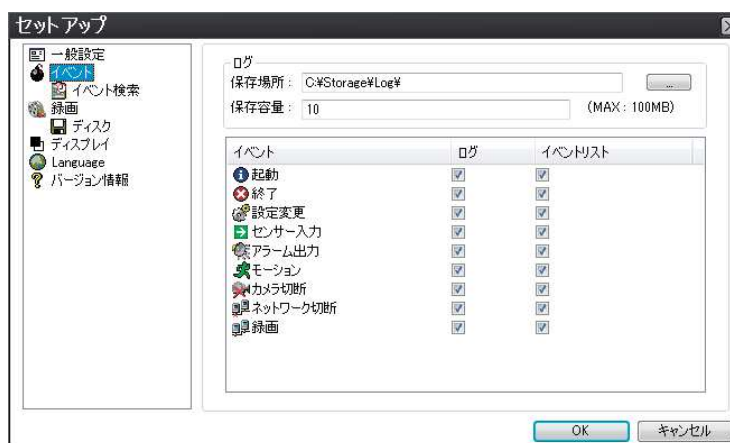
をクリックするとセットアップ画面が表示され UMS マルチクライアントの設定が変更・確認できます。

一般設定



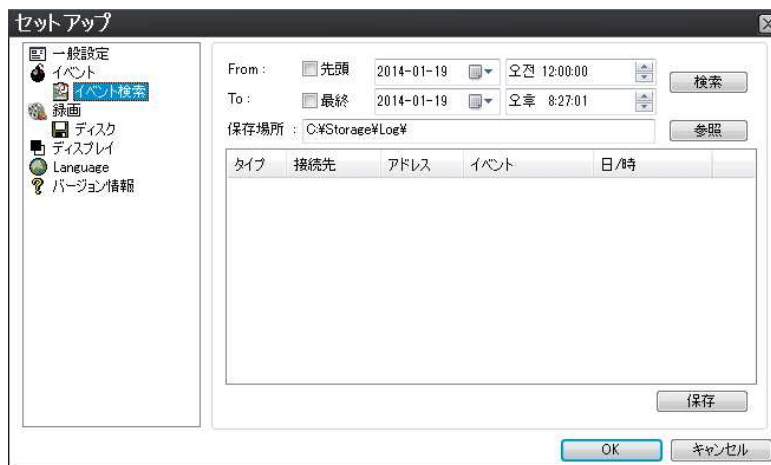
- パスワード設定： 各操作項目にチェックをいれると、その操作を行うときにパスワードが必要になります。
「パスワード」をクリックするとパスワードを設定することができます。
- 保存場所： キャプチャーした静止画かバックアップした動画ファイルを保存するフォルダを指定します。
- その他： 「自動再接続」何らかの原因でネットワークが切断された時、自動的に再接続を行います。
「いつも最前面に表示」他のウィンドウを重ねても UMS マルチクライアント画面が隠されないようになります。
「日付の形式」日付の表示形式を選択します。

イベント



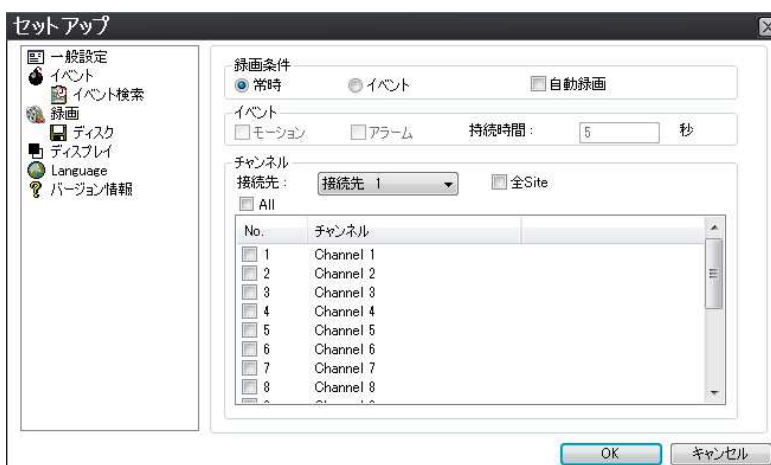
- ログ： UMS マルチクライアントでイベントが発生したログのリストを保存フォルダと制限容量を設定します。
- イベント設定： 各イベント項目にチェックを入れ、そのイベントが発生した時にログリストに記録するか / ライブ画面にアイコンを表示するか / ライブ画面の下部のログウィンドウに表示するかを設定します。

イベント検索



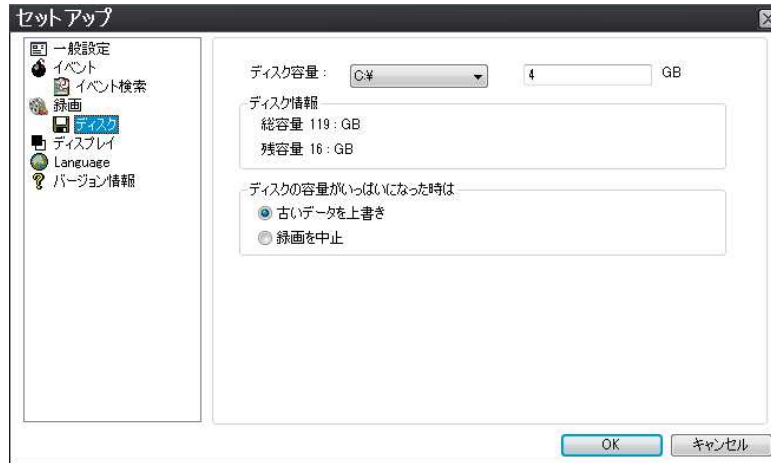
- ログの検索： イベントの発生記録を検索したい日時範囲を指定し「検索」をクリックすると、指定範囲内に発生したイベントのリストが表示されます。保存記録の最初から検索したい場合は「先頭」にチェック、保存記録の最後まで検索したい場合は「最終」にチェックを入れます。
- ログの保存： 検索してログがリストで表示されている状態で「保存」をクリックすると、ログリストをTXT形式で保存することができます。

録画



- 録画条件： UMS クライアントのライブ画面で「録画 ON」をクリックしてライブ映像を PC のハードディスクに保存する時に保存する時、常時録画を行うかイベントが発生した時にだけ録画するかを選択します。「自動録画」にチェックを入れると「録画 ON」をクリックしなくても UMS マルチクライアントの起動時から自動的に録画を始めます。
- イベント： 「録画条件」を「イベント」に設定した場合、録画を開始する条件を設定します。イベント条件はモーションかアラームあるいは両方選択可能です。設定したイベント発生時「持続時間」に記入した時間だけ録画を行います。
- チャンネル： 「録画 ON」をクリックしたとき PC のハードディスクにライブ映像を保存する接続先チャンネルを設定します。

ディスク



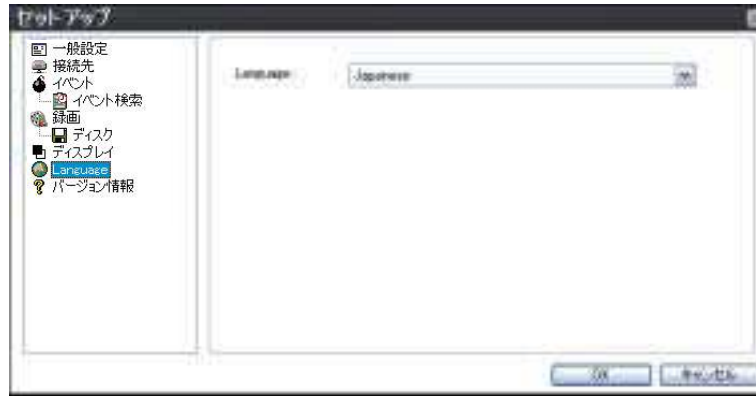
- ディスク容量： UMS マルチクライアントのライブ画面で「録画 ON」をクリックしてライブ映像を PC のハードディスクに保存する場合、データを保存する PC のドライブやデータサイズの上限容量を表示します。
- ディスク情報： UMS マルチクライアントがインストールされる PC のハードディスクの情報を標示します。
- ディスクの容量がいっぱいになった時は： PC のディスクの容量がいっぱいになった時、古いデータを上書きするか録画を中止するかを選択します。

ディスプレイ



- 接続先： OSD 表示を設定する接続先を選択します。
- 情報： 画像表示部の下部にフレームレートやビットレートなどのネットワーク状態を標示するか、日時情報を表示するかを選択します。
- イベント： DVR で発生したイベントの中で、UMS クライアントのライブ画面に表示したいイベントを選択します。複数選択が可能です。
- 第 2 モニター映像補正： 複数モニターを使用する PC で、セカンダリーモニターの UMS 映像に乱れが発生するとこのチェックボックスチェックを入れます。
- 画面自動切替え： 画面をローテーションする際の周期時間を設定します。3 ～ 60 秒で設定できます。

Language



- UMS クライアントで表示する言語を選択します。使用する言語を変更すると 1 度プログラムを終了し再度立ち上げた時点から適用されます。

バージョン情報



- 使用中の UMS クライアントのバージョンを確認できます。

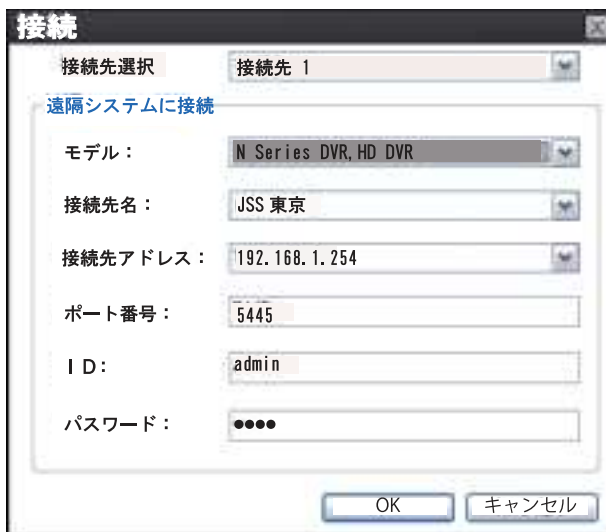
8.4.5 ポップアップメニュー

ライブ画面で画像上にカーソルを位置させマウスの右クリックすると右記のポップアップメニューが表示されます。

接続・切断

接続先に接続するか切断をします。

- ① ポップアップメニューから「接続」を選択しクリックすると接続画面が表示されます。



The dialog box titled "接続" (Connection) contains the following fields and controls:

- 接続先選択** (Connection Selection): A dropdown menu showing "接続先 1" (Connection 1).
- 遠隔システムに接続** (Connect to remote system): A blue link.
- モデル** (Model): A dropdown menu showing "N Series DVR, HD DVR".
- 接続先名** (Connection Name): A dropdown menu showing "JSS 東京".
- 接続先アドレス** (Connection Address): A dropdown menu showing "192.168.1.254".
- ポート番号** (Port Number): A text input field showing "5445".
- ID**: A text input field showing "admin".
- パスワード** (Password): A password input field with four dots.
- Buttons**: "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons at the bottom.



The context menu contains the following items:

- 切断 (Disconnect)
- High Quality (with a right arrow)
- Normal Quality (with a right arrow)
- iフレームのみ伝 (with a right arrow)
- フルスクリーン セットアップ (Full Screen Setup)
- 遠隔設定 (Remote Settings)
- サムネイル 表示 (Thumbnail Display)
- ロック (Lock)
- 接続先情報 (Connection Information)
- 接続先検索 (Connection Search)
- プリント (Print)
- 終了 (End)

- ② 「接続先選択」から16カ所の中でどのフレームに接続させるか選択します。
- ③ 選択したフレームの中に表示させる接続先を選択します。
 - モデル： 接続するフレームの中に表示させる接続先を選択します。N Series DVR HD DVR を選択。
 - 接続先名： プルダウンメニューを選ぶと、現在登録されている接続先名の名前のリストが表示されます。
 - 接続先アドレス： プルダウンメニューを標示させると現在登録されている接続先のアドレスリストが表示されます。
 - ポート番号： 選択した接続先のポート番号を入力します。
 - ID： 接続するユーザータイプを入力します。
 - パスワード： 選択した接続先のパスワードを入力します。
- ④ 「OK」をクリックすると選択した接続先の映像が選択した位置に表示されます。
- ⑤ 切断する時は接続中の接続先の画像の上でマウスを右クリックしポップアップメニューから「切断」をクリックします。

High Quality

解像度を 1920×1080 にする事ができます。

(選択肢：全てのチャンネル、選択チャンネルが選べます。英字表示)

Normal Quality

解像度を 640×352 にする事ができます。(初期設定)

(選択肢：全てのチャンネル、選択チャンネルが選べます。英字表示)

I フレームのみ伝送

基準になる画像のみを伝送します。

フルスクリーン

UMS クライアントの画面表示だけをフルスクリーンで表示します。

フルスクリーン表示を解除する時は PC の「E s c」を押します。

セットアップ

UMS クライアントの設定を行います。

※詳細は「8.4.4 セットアップのしかた」を参照 ください。

遠隔設定

接続中の DVR 本体の設定を遠隔から変更できます。

※詳細は「8.5 遠隔設定」を参照ください。

サムネイル非表示

サムネイルを表示するかしないかを選べます。

ロック

クリックするとパスワード入力のダイアログが表示されます。パスワードを入力すると画面表示部のマウス右クリック以外は操作できなくなります。

ロックの解除は同じ手順で行います。

※ロック設定・解除に入力するパスワードは、セットアップのパスワード設定とは関係なく 4～8 桁の臨時のものを 사용합니다。

接続先情報

接続先の接続先名、接続先アドレス、ポート番号、チャンネルを確認できます。

接続先検索

接続先名にて検索できます。

プリント

静止画像をプリントします。

終了

UMS クライアントソフトを終了します。

8.5 遠隔設定

設定値を変更しようとするサイトにマウスポインターを移した後、マウス右ボタンを押すとメニューが出て“遠隔設定”をクリックすると接続しているDVRの遠隔設定メニューが出ます。



遠隔設定を選択すると下のようなメインメニューが出ます。

(注意: 遠隔設定は製品の種類ファームウェアバージョンによって一部接続できない場合があります)

設定されているパスワードを入力すると遠隔設定画面が表示されます。(英語表記のみです)

WEB SETUP (ver 1.7.5p)

PASSWORD:

8.5.1 Display設定

ライブ画面の設定を変更できます。

WEB SETUP

(ver 1.12.6)

DISPLAY

RECORD

DEVICE

STORAGE

SYSTEM

SECURITY

NETWORK

UPGRADE

INFORMATION

OSD

CHANNEL NAME

VIDEO LOSS

STATUS BAR / ICON

CAMERA TYPE

RECORD MODE

☐ ON ☒ OFF

☐ ON ☒ OFF

☐ ON ☒ OFF

☐ ON ☒ OFF

☐ ON ☒ OFF

OSD CONTRAST

100

SEQUENCE

SEQUENCE-DWELL TIME

3 SECOND(S)

CHANNEL

NAME

CH1

COVERT

OFF

BRIGHTNESS

50

CONTRAST

50

HUE

50

SATURATION

55

RELOAD

APPLY

【 Display設定メニュー 】

名 前	説 明
OSD	チャンネル名、ビデオロス、ステータスバー、アイコンなどを表示するか否かを設定します。
OSD CONTRAST	画面表示の文字のコントラストを調節します。
SEQUENCE	画面順次切り替えを使用するか否かを設定します。
SEQUENCE DWELL TIME	画面順次切り替えについての間隔時間を調節します。
CHANNEL	指定されたチャンネルについて名前、画面の表示を設定します。

8.5.2 RECORD設定

録画設定を変更できます。

WEB SETUP (ver 1.12.6)

DISPLAY	RECORD	DEVICE	STORAGE	SYSTEM	SECURITY	NETWORK	UPGRADE	INFORMATION																	
CHANNEL		CH1																							
RESOLUTION		CIF																							
FRAME RATE		15 FPS																							
QUALITY		LEVEL 4																							
RECORDING		CONTINUOUS																							
SENSOR RECORDING		- - - -																							
PRE RECORD		1 MINUTE(S)																							
POST EVENT RECORD		10 SECOND(S)																							
AUDIO		☒ ON ☐ OFF																							
SCHEDULE		NONE																							
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																									
MON																									
TUE																									
WED																									
THU																									
FRI																									
SAT																									

RELOAD APPLY

【 RECORD設定メニュー 】

名 前	説 明
OSD	チャンネル名、ビデオロス、ステータスバー、アイコンなどを表示するか否かを設定します。
RESOLUTION	チャンネル別に録画解像度を選択できます。
FRAME RATE	チャンネル別に録画フレームを選択できます。
QUALITY	チャンネル別に録画品質を選択できます。
RECORDING	常時録画、モーション感知、センサー、スケジュール録画を選択できます。
PRE RECORD	事前イベント録画時間の設定ができます。
POST EVENT RECORD	イベント発生後の録画時間を設定できます。
AUDIO	オーディオ録画するか否かを設定できます。
SCHEDULE	スケジュール録画を設定できます。

8.5.3 Device設定

装置についての設定を変更できます。

WEB SETUP (ver 1.12.6)

DISPLAY	RECORD	DEVICE	STORAGE	SYSTEM	SECURITY	NETWORK	UPGRADE	INFORMATION
ALARM-OUT			1					
ALARM DURATION			5					
TYPE			NORMAL OPEN					
CONTROLLER			----					
SPEED			9600					
ID			0					
PTZ								
CHANNEL			CH1					
CAMERA			----					
SPEED			9600					
ID			0					
MOTION								
CHANNEL			CH1					
MOTION ZONE			FULL ZONE					
MOTION SENSITIVITY			9(H)					
KEY TONE			☒ ON ☐ OFF					
REMOTE CONTROLLER ID			0					
SENSOR			1					
TYPE			OFF					

RELOAD APPLY

【 Device設定メニュー 】

名 前	説 明
ALARM OUT	センサー、モーション感知、映像ロスアラーム出力について設定します。ハードディスクエラーおよびビデオロスはブザーを設定できます。
ALARM DURATION	アラーム出力についての持続時間を設定します。
CONTROLLER	コントローラー通信速度およびIDを設定します。
PTZ	チャンネル別カメラプロトコルおよび通信速度とIDを設定します。
MOTION	チャンネル別にモーション録画についての感知領域および感度を設定できます。
KEYTONEA	ボタン音についての使用するか否かを設定できます。
REMOTE CONTROLLER ID	リモコンの遠隔制御IDを設定できます。
SENSOR	センサーの種類を選択できます。

8.5.4 Storage設定

保存装置についての設定を変更します。

WEB SETUP (ver 1.12.6)

DISPLAY	RECORD	DEVICE	STORAGE	SYSTEM	SECURITY	NETWORK	UPGRADE	INFORMATION
OVERWRITE			☐ ON ☒ OFF					
DISK INFO								
HDD SIZE :			1862 GB (FREE : 1843 GB)					
HDD START TIME :			2015/02/16 11:56:00					
HDD LAST TIME :			2015/02/20 20:14:00					
HDD 1								
MODEL NAME			WDC WD20PURX-64P6ZY0					
TEMPERATURE			45 Celsius (113 Fahrenheit)					
HEALTH (GOOD/NORMAL/BAD)			GOOD					
REALLOCATED SECTORS			0					
CURRENT PENDING SECTORS			0					
UNCORRECTABLE SECTORS			0					
SPIN RETRY SECTORS			0					
RECORDING LIMIT			OFF					
RECORDING LIMIT DAYS			30 DAY(S)					

RELOAD APPLY

【 Storage設定メニュー 】

名 前	説 明
OVERWRITE	HDD容量が一杯になると上書きを使用するか選択します。
DISK INFO	HDD情報を表示します。
RECORD LIMIT	録画データの保存期間を設定します。

8.5.5 System設定

システム設定を変更できます。

WEB SETUP (Ver 1.12.8)

DISPLAY RECORD DEVICE STORAGE SYSTEM SECURITY NETWORK UPGRADE INFORMATION

DVR ID:

DATE FORMAT:

TIME DISPLAY FORMAT:

TIME ZONE:

DAYLIGHT SAVING:

SET DATE & TIME:

CLIENT ACCESS:

NTP:

PRIMARY SNTP SERVER:

SECONDARY SNTP SERVER:

TIME ZONE:

CONNECTION MODE:

CONNECTION PERIOD:

SEND EMAIL:

SERVER TYPE:

MAIL SERVER:

MAIL PORT:

SECURE OPTION:

ID:

PASSWORD:

MAIL TO:

MAIL FROM:

SEND MAIL TEST:

SYSTEM RESTART:

SYSTEM EVENT NOTIFICATION:

DISK EVENT SETUP

HEALTH CHECK

PERIOD:

HDD TEMPERATURE:

HDD BAD SECTORS:

EVENTS AND NOTIFICATION

	ALARM OUT	BEEP	E-MAIL
HEALTH CHECK	-	-	YES
RESTART	-	-	YES
SHUTDOWN	-	-	YES
PANIC RECORD	-	-	YES
ALARM IN	NO	-	NO
MOTION DETECTION	NO	-	NO
VIDEO LOSS	NO	NO	NO
HDD TEMPERATURE	1	YES	NO
HDD BAD SECTORS	-	-	YES
HDD ALMOST FULL	-	-	YES
HDD FULL	-	-	YES
HDD FAILURE	NO	NO	YES

RELOAD APPLY

【SYMSTEM設定メニュー】

名 前	説 明
DVR-ID	DVR IDを設定できます。
DATE FORMAT	日付形式を設定できます。
CLIENT ACCESS	遠隔接続するか否かを設定できます。
NTP SETUP	NTPサーバーを利用して時刻同期するか否かを設定できます。
PRIMARY SNTP SERVER	NTPサーバー第1アドレスを入力します。
SECONDARY SNTP SERM	NTPサーバー第2アドレスを入力します。
TIME ZONE	標準時間帯を選択します。
CONNECTION MODE	NTP時間サーバー接続モードを選択します。
SEND E-MAIL SETUP	電子メール転送機能を使用するか否かを選択します。
SEVER TYPE	メールサーバー 選択 GMAIL、HOTMAIL、AOL、YAHOO or MANUAL)

名 前	説 明
MAIL SERVER	SMTPサーバー 名を入力します。
MAIL PORT	電子メールポート設定
SEURE OPTION	セキュリティメールサーバー接続を選択します。(SSL or TLS)
ID	電子メールIDを入力します。
PASSWORD	電子メールパスワードを入力します。
MAIL TO	送り先の電子メールアドレスを入力します。
MAIL FROM (Return Mail Address)	返送される電子メールアドレスを入力します。
SEND MAIL TEST	登録されたアカウントにテストメールを送送します。
SYSTEM EVENT NOTIFICATION	該当イベントについて、通知するか否かを設定できます。
HEALTH CHECK	(周期的にイベント状態をメールで転送): DAILY or WEELY or MONTHLY
HDD TEMPERATURE	DVRに問題が発生した時、イベントにEメールお知らせを使用します。
HDD BAD SECTOR	
HDD ALMOST FULL	
HEALTH CHECK / RESTART / SHUTDOWN / PANIC RECORD	
ALARM-IN	センサーを感知する場合、Eメール通知を表示
MOTION DETECTION	モーション感知する場合Eメール通知を表示
NO CONNECTION	映像信号ロス発生時、Eメール通知、ブザーおよびアラーム出力
HDD TEMPERATURE	HDD最高温度到達時、Eメール通知、ブザーおよびアラーム出力
HDD BAD SECTOR	HDDエラーセクター発生時、Eメール通知を表示
HDD ALMOST FULL	HDDがほぼ一杯になった場合、Eメール通知を表示
HDD FULL	HDDが一杯になった場合、Eメール通知を表示
HDD FAILURE	HDD認識エラー時、Eメール通知、ブザーおよびアラーム出力

8.5.6 SECURITY設定

セキュリティについての設定を変更できます。

WEB SETUP (ver 1.10.7)

DISPLAY RECORD DEVICE STORAGE SYSTEM **SECURITY** NETWORK UPGRADE

INFORMATION

USER AUTHENTICATION

	PASSWORD	SETUP	PB	PTZ	R/OFF	NETWORK
PASSWORD CHECK		☒	☒	☒	☒	☒
ADMIN	*****	☒	☒	☒	☒	☒
USER1	*****	☒	☒	☒	☒	☒
USER2	*****	☒	☒	☒	☒	☒
USER3	*****	☒	☒	☒	☒	☒

USER PASSWORD CHANGE

NEW PASSWORD

CONFIRM PASSWORD

PLAYBACK AUTHORITY

	1	2	3	4
ADMIN	☒	☒	☒	☒
USER1	☒	☒	☒	☒
USER2	☒	☒	☒	☒
USER3	☒	☒	☒	☒

NETWORK LIVE AUTHORITY

	1	2	3	4
ADMIN	☒	☒	☒	☒
USER1	☒	☒	☒	☒
USER2	☒	☒	☒	☒
USER3	☒	☒	☒	☒

【 SECURITY設定メニュー 】

名 前	説 明
USER AUTHORITY	使用者別に各機能についての権限を与えるか否かを選択します。
USER PASSWORD CHANGE	パスワードを変更する使用者を選択します。
NEW PASSWORD	現在パスワードを変更するか選択します。
CONFIRM PASSWORD	変更する新しいパスワードを入力します。
PLAYBACK AUTHORITY	変更した新しいパスワードを再入力します。
NETWORK LIVE AUTHORITY	使用者別に検索チャンネルの権限を選択します。
	使用者別に遠隔接続チャンネルの権限を選択します。

8.5.7 NETWORK設定

ネットワークについての設定を変更できます。

WEB SETUP (ver 1.12.9)

DISPLAY RECORD DEVICE STORAGE SYSTEM SECURITY **NETWORK** UPGRADE

INFORMATION

PORT	5445
NETWORK AUDIO PORT	5446
WEBPORT	80
NETWORK TYPE	STATIC
IP	192.168.33.99
SUBNET MASK	255.255.255.0
GATEWAY	192.168.33.1
1st DNS	192.168.33.1
2nd DNS	168.126.63.2
DDNS	SERVER3
SERVER1	
DDNS SERVER NAME	bestddns.com
DDNS INTERVAL	60 MINUTES
SERVER2	
DDNS SERVER NAME	user_id.dyndns.org
DDNS ID	user_id
DDNS PASSWORD	*****
DDNS INTERVAL	60 MINUTES
SERVER3	
DDNS HOST NAME	000269095E7C
HOST DOMAIN NAME	000269095E7C.bestddns.com
NETWORK STREAM	CH1
RESOLUTION	640 x 360
FRAME RATE	15 FPS
QUALITY	LEVEL 5(H)

RELOAD APPLY

【 NETWORK設定メニュー 】

名 前	説 明
PORT	ネットワークでDVRを接続する時、使用するポート番号を設定します。
NETWORK AUDIO PORT	ネットワークオーディオポート (NETWORK PORT + 1).
WEB PORT	ウェブサーバーポート番号を設定します。
NETWORK TYPE	接続するネットワークタイプを選択します。（選択肢：固定/DHCP）
STATIC	ネットワーク 設定を手動で入力します(IP、Gateway、Subnet Mask、DNS IP)
DHCP	ネットワークで設定を自動で割り振られます。
DDNS	DDNSサーバーサービスを使用するか否かを設定します。
NETWORK STERAM	ネットワークで転送された解像度、フレームなどを設定します。
RESOLUTION	解像度を選択します。
FRAM RAON	コマ数を設定します。
QUALITY	品質を選択します。（選択肢：1（L）～5（H））

8.6 Webクライアントの使用

DVRがネットワークに接続されていると、Internet Explorerのブラウザで映像を監視・再生することができます。

8.6.1 IEからの接続

- ① パソコンのWebブラウザ(Internet Explorer)を起動します。
 - ② ブラウザのアドレスバーにDVRのIPアドレスを入力し、Enterキーを押します。
- 入力例: アドレス(D) 192.168.0.100
- ③ WebブラウザにWeb Viewerの画面が表示されます。
 - ④ メイン画面に戻ったら画面右上のアイコン  をクリックで接続します。
 - ⑤ ダイアログボックスが表示されるのでID・パスワードを入力して「Connect」をクリックしてください。

初期設定 ID : admin パスワード : 1111

セキュリティの警告が出たら

セキュリティの警告のウィンドウが出ましたら「実行する」を押してください。警告バーにアドオンのインストールの確認が表示されますので、クリックしてください。

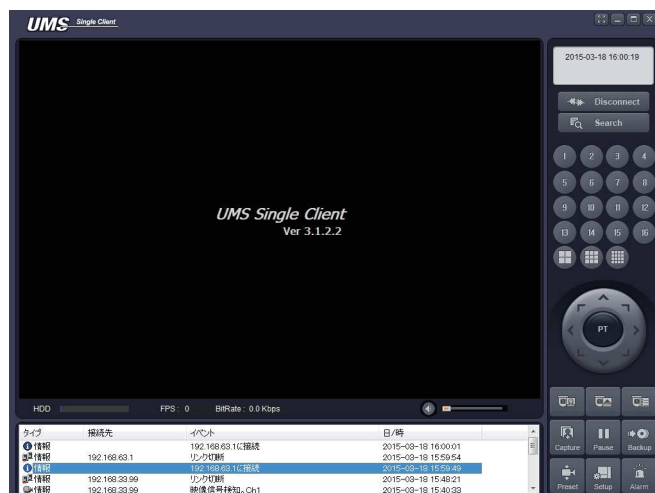


ウィンドウが開いて「Nadatel-WebViewer」のインストールの確認が表示されますので、インストールをクリックしてください。

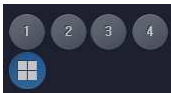
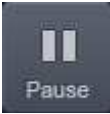


インストール後、PCを再起動してください。再起動後、再度接続してください。

8.6.2 ライブモードの構成と各部のはたらき



メイン画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	画面表示部	DVRに接続されているカメラのライブ映像を表示します。 画面表示部にカーソルをのせると、左下にミニ画面が表示され、マウスのホイールを利用してデジタルズームができるようになります。
	日時情報	現在の日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	検索	ライブモードを検索モードに切り換えます。
	チャンネル表示	選択したチャンネルを1画面で表示するか、マルチ画面で
	パン/チルト/ズーム/ フォーカス	PTZカメラのパン/チルト/ズーム/フォーカスを調節します。 中央のボタンをクリックすることによりパン/チルト⇄ズーム/フォーカスモードに切り替わります。
	キャプチャー	ライブ画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックすると、キャプチャーファイルの保存先の指定画面が表示されます。
	再生/停止	ライブ画像を再生/一時停止させます。
	プリセット	PTZカメラのプリセットの設定を行います。
	セットアップ	遠隔設定画面を表示します。
	HDD容量	DVRのHDDの使用容量を表示します。
	ネットワーク状況	ネットワークの伝送フレーム数や帯域幅を表示します。
	ボリューム	出力音量を調整します。 スピーカーのアイコンをクリックすることで音声出力を入/切にすることもできます。
	ログウィンドウ	操作履歴を表示します。

8.6.3 検索モードの構成と各部のはたらき



検索画面のコントロールボタン

ボタン	名前	説明
	日時情報	再生中の映像の録画日時を表示します。
	接続/切断	ネットワーク状態を接続/切断にします。
	検索	検索モードをライブモードに切り換えます。
	チャンネル表示	表示するチャンネルを選択します。
	カレンダー	再生したい映像の日付を選択します。 録画データのある日付は水色に表示されます。
	キャプチャー	再生画像を静止画で保存します。 このボタンをクリックするとキャプチャー画面が表示され、再生画面をbmpかjpg形式の静止画で保存することができます。キャプチャーファイルの保存先はC:\Storage\Captureがデフォルトに設定されています。
	開始点	再生映像からバックアップしたい区間の開始点を指定します。
	終了点	再生映像からバックアップしたい区間の終了点を指定します。
	バックアップ	DVRかパソコンのハードディスクに保存されている録画映像をAVI形式でバックアップします。
	タイムラインバー	24時間か60分を表示するタイムラインです。データのある区間は水色のラインで表示されます。スライドノブをドラッグ&ドロップすることで再生したい時刻に移動できます。

ボタン	名前	説明
	PC/DVR	パソコンのハードディスクに保存されているデータを再生するか、DVRのハードディスクに保存されているデータを再生するかを選択します。
	再生/一時停止	録画映像を再生/一時停止します。 タイムラインの上で再生したい時刻を選択し、このボタンをクリックすると再生がはじまります。
	1フレームずつ再生	録画映像の一時停止状態からクリックするごとに1フレームずつ再生されます。
	1分ずつ再生	クリックするごとに1分先/前の映像にスキップされます。
	早戻し/早送り	再生中の映像を早戻し/早送りします。
	時間単位表示/分単位表示	クリックするごとにタイムラインが選択した日の24時間の表示/選択した時間の60分間の表示に切り換わります。

8.7 モバイルでのライブ画面監視

iPhone、iPad、Android対応のスマートフォンで、DVRのライブ監視、録画データの再生が可能です。

接続の前に

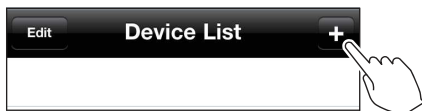
DVRがインターネット経由での遠隔監視が可能な状態に設定する必要があります。「2.8 設定 - ネットワーク設定」参照

8.7.1 iPhone/iPadからの接続

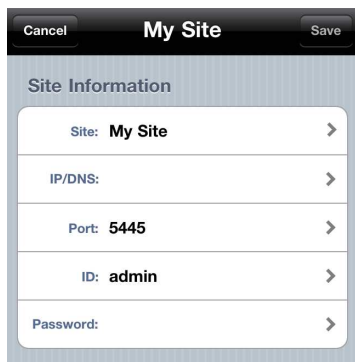
1.App Store から「iUMS」を検索し、ダウンロードします。



2.iUMS を起動し、上部の [+] をタップします。

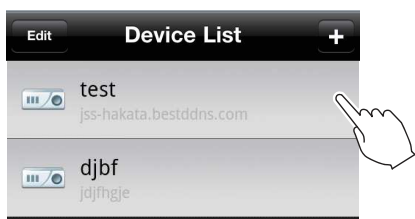


3.DVR を登録します。

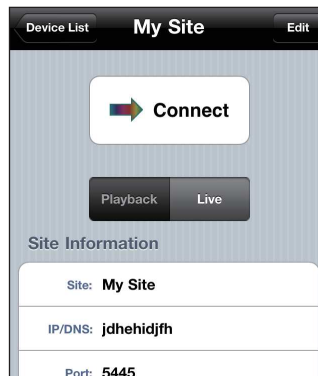


Device Name: 登録するDVRのリスト名を入力します。
IP/DNS: DVRアドレス(IPもしくは、DDNSアドレス)を入力します。
Port: ポート番号を入力します。
ID: DVRで設定したユーザー名を入力します。
Password: DVRユーザーのパスワードを入力します。
全て入力した後、「Save」ボタンをタップして登録完了です。

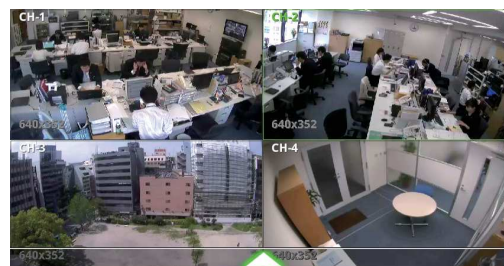
4. 登録した DVR リストが表示されるので接続する DVR をタップします。



5.[Live(ライブ監視)]または[Playback(再生)]を選択して[Connect]を押して次に進みます。



6a.[Live(ライブ監視)]選択時はライブ監視映像が表示されます。



7b.[Playback(再生)]選択時は日付・時間の指定画面が表示された後、再生画面が表示されます。



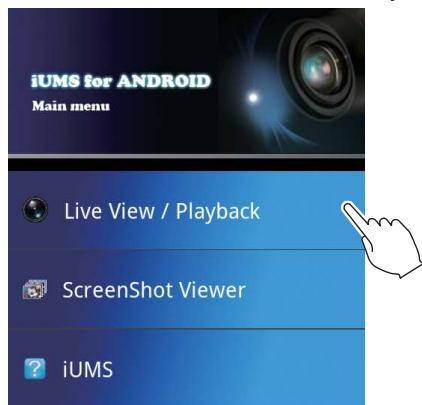
再生中は、早送り・早戻し・一時停止が行えます。

8.7.2 Androidからの接続

1.google play ストアから「iUMS」を検索し、ダウンロードします。



2.iUMS を起動し、[Live View / Playback] をタップします



3.DVR を登録します。

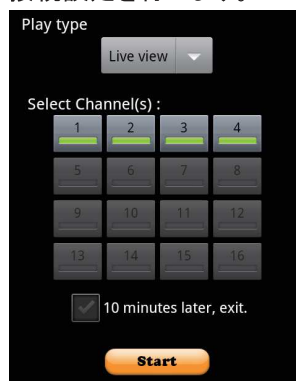
Device Name: 登録するDVRのリスト名を入力します。
IP/DNS Address: DVRアドレス(IPもしくは、DDNSアドレス)を入力します。
Port: ポート番号を入力します。
User Name: DVRで設定したユーザー名を入力します。
Password: DVRユーザーのパスワードを入力します。
全て入力した後、「ADD」ボタンをタップして登録完了です。

4. 登録した DVR リストが表示されるので接続する DVR をタップします。



○サブメニュー表示ボタンで表示されるメニューについて
Add: 新しいDVRをリストに登録します。
Edit: 登録済みのリストを選ぶと編集が可能です。
Delete: 登録済みのリストを選んで削除します

5. 接続設定を行います。



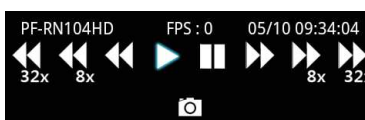
Play type: [Live view(ライブ監視)]または[Playback(再生)]から選択します。

Select Channel(s): 接続するカメラチャンネルを選択します。
10minutes later,exit: チェックを入れると10分後に自動で接続を終了します。
上記設定後、「Start」ボタンをタップして次に進みます。

6a.[Live view(ライブ監視)]選択時はライブ監視映像が表示されます。



7b.[Playback(再生)]選択時は日付・時間の指定画面が表示された後、再生画面が表示されます。



再生中は、早送り・早戻し・一時停止が行えます。
カメラボタンをタップすると画像に変換され、起動時メニュー [ScreenShot Viewer] から閲覧することができます。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置のしかた
電源が入らない	電源コンセントからはずれている	確実にコンセントに差し込む
モニタに映像が出ない	接続がまちがっている	正しく接続する
	周辺機器やモニタの電源が入っていない	電源を入れる
リモコンを押しても動作しない	電池がなくなっている	電池を新しいものに変える
記録できない	上書き設定を「OFF」に設定している	録画装置設定内上書きを [ON] にする
タイマー記録ができない	日付・時刻がまちがっている	日付・時刻を正しく設定する
	タイマー記録設定が正しくない	スケジュール設定を正しくやり直す
モーション録画ができない	モーション設定が正しくない	録画設定を正しくやり直す

■電源が瞬断した場合

録画スピードや時刻が変化することがありますが、これは異常ではありません。

また、再生は停止しますが録画は電源が復帰するとふたたび録画状態になります。

■システムダウン

まったく動作しなくなった場合は、次の手順で確認して下さい。

- ① 電源を入切する。
- ② ①を繰り返しおこなっても動作しないときは、お買い上げ販売店に修理をご依頼下さい。

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。

所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

●本機（ハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検の実施をおすすめします。

詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけくわしく）
- ② 品名と品番
（アナログ・AHD専用DVR PF-RN2xxAHD）
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

